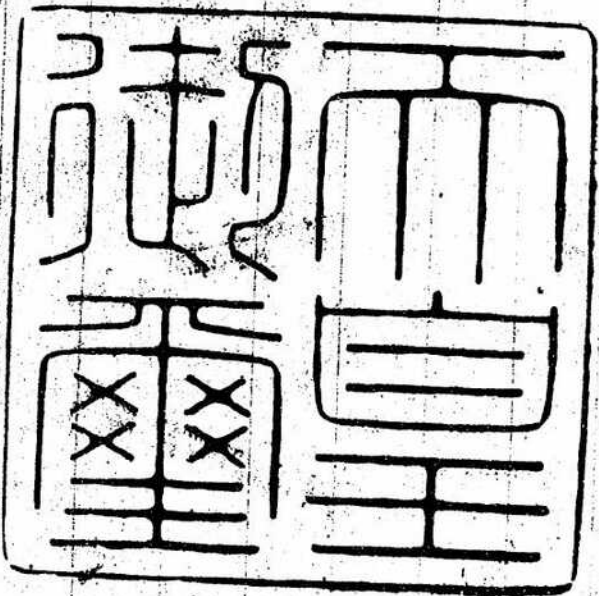


條約第三號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ大正十二年九月十二日
「ジューネーヴ」ニ於テ帝國全權委員ガ關係各國全
權委員ト共ニ議定シ且宣言ヲ附シテ署名シ更ニ
昭和十一年二月十四日附ヲ以テ帝國政府ガ帝國
全權委員ノ爲シタル右宣言ヲ更正スル爲宣言ス
ル所アリタル猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ
國際條約ヲ右帝國政府ノ宣言ニ依リテ更正セラレ
タル帝國全權委員ノ宣言ヲ存シテ批准シ茲ニ右
帝國政府ノ宣言及最終議定書竝ニ猥褻刊行物ノ
流布ノ禁止ニ關スル協定ト共ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十一年五月十五日

内閣總理大臣 廣田 弘毅
外務大臣 有田 八郎

條約第三條

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際條約

(千九百二十三年九月十二日ヨリ千九百二十四年三月三十一日ニ至ル迄
「ジュネーヴ」ニ於テ署名ノ爲開キ置カル)

「アルバニア」國、獨逸國、埃地利國、白耳義國、「ブラジル」國、英帝國(直、アフリカ)聯邦、「ニュー、
ジラランド」、「印度及「アイルランド」自由國ト共ニ)、「ブルガリア」國、中華民國、「コロンビア」
國、「コスタ、リカ」國、「キューバ」國、丁抹國、西班牙國、「フィンランド」國、佛蘭西國、希臘國、
「ハイチ」國、「ホンデウラス」國、「ハンガリー」國、伊太利國、大日本帝國、「ラトヴィア」國、「リス
アニア」國、「ルクセンブルグ」國、「モナコ」國、「パナマ」國、和蘭國、「ベルシア」國、「ポーラ
ンド」國(「ダンチッピ」ト共ニ)、「ポルトガル」國、「ルーマニア」國、「サルヴァドル」國、「セルブ、
クロアイト、スロヴェニア」王國、暹羅國、瑞西國、「チチコスロヴァキア」國、「トルコ」國及「ウ
ルグアイ」國ハ

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止手段ヲ成ルベク有效ナラシムルコトヲ均シク希望シ

千九百十年ニ作成セラレタル條約案ノ審査、各國ニ依リ提出セラレタル意見書ノ審査並ニ條約ノ最終本文ノ完成及署名ノ爲國際聯盟ノ主宰ノ下ニ千九百二十三年八月三十一日「ジュネーヴ」ニ召集セラルル會議ニ參加スベキ旨ノ佛蘭西共和國政府ノ招請ヲ受諾シ之ガ爲左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

「アルバニア」國最高會議議長

國際聯盟ニ派遣ノ「アルバニア」國事務局局長「ビー、プリニシュタイ」

獨逸國大統領

在「ジュネーヴ」獨逸國領事館事務取扱、公使館參事官「ゴットフリード、アシュマン」

埃地利共和國大統領

國際聯盟ニ派遣ノ聯邦政府代表者、辨理公使「エメリッヒ、ブツリューグル」

白耳義國皇帝陛下

狼狽刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員「モーリス、デュラエル」

「ブラジル」合衆共和國大統領

第四回國際聯盟總會ニ於ケル「ブラジル」國首席代表「ドクトル、アフラニオ、ド、メロ、

フランコ

「グレート、ブリテン」及「アイルランド」聯合王國並ニ「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

狼狽刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、檢事長「サー、アーチボールド、ボドキン」

前記會議ニ於ケル英國代表附技術顧問「エス、ダブリュー、ハリス」
及

南「アフリカ」聯邦

國際聯盟理事會ニ於ケル英國代表者「ロード、バームーア」

「ニュー、ジールランド」

聯合王國駐在「ニュー、ジールランド」高級委員「サー、ジェームズ、アリン」

印度

「サー、ブラバサンカー、デー、バクニ」

「アイルランド」自由國

國際聯盟ニ派遣ノ自由國代表者「マイクル、マクホワイト」
「ブルガリア」國皇帝陛下

第四回國際聯盟總會ニ於ケル「ブルガリア」國首席代表委員、外務大臣「シー、カル
フキフ」

中華民國大總統

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、佛蘭西共和國駐劄特
命全權公使陳錄

「コロンビア」共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、瑞西聯邦駐劄特命全
權公使「フランシスコ、ホセ、ウルティア」

「コスタ、リカ」共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、佛蘭西共和國駐劄特
命全權公使「マヌエル、エメ、デ、ペラルタ」

「キニバ」共和國大統領

四

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、第四回國際聯盟總會
ニ於ケル「キニバ」國首席代表、上院議員「コスメ、デ、ラ、トリエンテ、イ、ペラサ」
丁抹國皇帝陛下

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、國際聯盟ニ派遣ノ丁
抹國代表者、瑞西聯邦駐劄特命全權公使「アー、オルデンブルグ」

西班牙國皇帝陛下

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、瑞西聯邦駐劄特命全
權公使「エー、デ、バラシオス」

「フィンランド」共和國大統領

在「パリ」
「フィンランド」國公使館書記官「ウルホ、トイヅォラ」

佛蘭西共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議議長、下院議員「ガストン、デシアン」
前記會議ニ於ケル補助委員、内務省名譽局長「ジ、アンヌカン」

希臘國皇帝陛下

五

六
猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、前外務大臣「エヌ、ボ
リテイス」

前記會議ニ於ケル補助委員、前司法省刑事局長「デー、イー、カストルキス」
「ハイチ」共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、佛蘭西共和國駐劄特
命全權公使「ボナミ」

「ホンデラス」共和國大統領
第四回國際聯盟總會ニ於ケル代表委員、在「パリ」代理公使「カルロス、グティエレス」
「ハンガリー」國攝政殿下

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、國際聯盟ニ派遣ノ「ハ
ンガリー」王國事務局局長「ゾルタン、バラニャイ」

伊太利國皇帝陛下
猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、下院議員「ステファノ、
カヴァツォニ」

大日本帝國天皇陛下

在「パリ」國際聯盟帝國事務局次長杉村陽太郎
「ラトヴィア」共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、外務省國際聯盟課
長「ユリイス、フェルドマンズ」

「ロシアニア」共和國大統領
猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、外務省局長「イニ
ース、ヨニナス」

「ルクセンブルグ」國大公殿下
猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、「ジュネーヴ」駐在
大公國領事「シャルル、ヴェルモール」

「モナコ」國公殿下
猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、「ジュネーヴ」駐在公
國副領事「ロドルフ、エンス・ブリツァ」

「バナマ」共和國大統領

第四回國際聯盟總會ニ於ケル代表委員、在「パリ」代理公使「エル、アー、アマドール」
和蘭國皇帝陛下

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、和蘭白人奴隸買賣禁
止協會會長「アー、ド、グラーフ」

「ベルシヤ」國皇帝陛下

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、國際聯盟ニ派遣ノ帝
國政府代表者「ミルザ、リザ、カーン、アルフ・エド・ド・ヴレー」殿下

・「ポーランド」共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、労働監察長官「エフ、
ソカル」

及

「ダンチッヒ」自由市

瑞西聯邦駐劄特命全權公使「ヨット、モツエレフスキー」

八

「ポルトガル」共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、全權公使「ドクトル、
アウグスト、セ、ダルメイダ、ジッスコンセロス、コレイア」

「ルーマニア」國皇帝陛下

瑞西聯邦駐劄特命全權公使「ネー、ペー、コムネン」

「サルヴァドル」共和國大統領

第四回國際聯盟總會ニ於ケル代表委員、佛蘭西共和國及伊太利國駐劄特命全權公使「ホー
タ、ヘー、グエロ」

「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」國皇帝陛下

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、瑞西聯邦駐劄特命全
權公使「ドクトル、ミルティン、ヨヴァノヴィチ」

暹羅國皇帝陛下

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員「ダムラス、ダムロン」
殿下

九

瑞西聯邦政府

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、列邦議會議員「エル
ネスト、ベガン」

「チエロコスロヴキア」共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、瑞西聯邦駐留特命全
權公使「ドクトル、ロベルト、フリーデル」

「トルコ」共和國大統領

在「ベルヌ」代理公使「ルシディ、ペー」

「ウルグアイ」共和國大統領

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ於ケル代表委員、西班牙國駐留特命全
權公使「ベンシアミン、フェルナンデス、イ、メディナ」

右各全權委員ハ其ノ全權委任狀ヲ示シ之ガ良好妥當ナルヲ認め

且本會議ノ最終議定書及千九百十年五月四日ノ協定ヲ了承シタル後

左ノ諸規定ヲ協定セリ

第一條

締約國ハ左ノ犯行ノ何レカヲ爲シタル者ヲ發見シ、訴追シ及處罰スル爲一切ノ手段ヲ執ルコトニ
同意シ從テ左ノ如ク約ス

左記ハ處罰セラルベキ犯行タルベシ

- (一) 營業ノ爲若ハ營業トシテ又ハ頒布若ハ一般ノ展覽ノ爲猥褻ナル文書、素描、版畫、繪畫、印
刷物、圖書、「ポストター」、徽章、寫眞、活動寫眞用「フィルム」又ハ他ノ猥褻ナル物件ヲ作製シ
又ハ所持スルコト
- (二) 前記目的ノ爲前記ノ猥褻ナル物件ノ何レカヲ輸入シ、輸送シ若ハ輸出シ又ハ輸入セシメ、輸
送セシメ若ハ輸出セシメ又ハ如何ナル方法ニ依ルヲ問ハズ之ヲ流布スルコト
- (三) 前記ノ猥褻ナル物件ノ何レカニ關スル公然ノ又ハ秘密ノ業務ヲ行ヒ若ハ之ニ參加シ、右物件
ヲ如何ナル方法ニ依ルヲ問ハズ販賣シ、之ヲ頒布シ、之ヲ一般ニ展覽シ又ハ之ガ貸與ヲ業務ト
スルコト
- (四) 前記ノ處罰セラルベキ行爲ノ何レカニ從事スル者アルコトヲ前記ノ處罰セラルベキ流布若ハ

取引ヲ幫助スルノ目的ヲ以テ方法ノ如何ヲ問ハズ廣告シ若ハ了知セシメ又ハ直接タルト間接タルトヲ問ハズ前記ノ猥褻ナル物件ガ如何ナル方法ニ依リ若ハ何レノ者ヨリ取得セラレ得ルカラ廣告シ若ハ了知セシムルコト

一一

第二條

第一條ニ掲ゲラルル犯行ヲ爲シタル者ハ該犯行ガ又ハ其ノ構成要素ノ何レカガ爲サレタル地域ノ屬スル締約國ノ裁判所ノ管轄ニ屬スベシ犯行ノ構成要素ガ該犯行ヲ爲シタル者ノ屬スル締約國ノ領域外ニ於テ爲サレタル場合ト雖モ右ノ者ガ右締約國ノ領域内ニ於テ發見セララルトキハ該國ノ法令ガ許ストキハ右ノ者ハ又該國ノ裁判所ノ管轄ニ屬スベシ

尤モ各締約國ハ其ノ法令ニ定メララルル規則ニ從ヒ一事不再理ノ原則ヲ適用スルノ權利ヲ有スベシ

第三條

本條約ニ掲ゲラルル犯行ニ關スル司法事務囑託ノ送達ハ左ノ方法ノ何レカニ依リ行ハルベシ

- (一) 司法官憲間ノ直接通信
- (二) 被請求國ニ於ケル請求國ノ外交官又ハ領事官ノ仲介 右外交官又ハ領事官ハ當該司法官憲ニ

又ハ被請求國ノ政府ノ指定スル官憲ニ直接ニ司法事務囑託書ヲ送付スベシ且司法事務囑託ノ施行ヲ示ス書類ヲ右官憲ヨリ直接ニ受領スベシ

前記何レノ場合ニ於テモ司法事務囑託書ノ原本ハ當ニ被請求國ノ最高官憲ニ送付セラルベシ

(三) 外交手續

各締約國ハ他ノ各締約國ノ司法事務囑託ニ付自國ノ承認スル前記ノ送達方法ヲ右締約國ニ通告スベシ

本條(一)及(二)ノ方法ニ依ル送達ニ關聯シ生ズルコトアルベキ一切ノ紛議ハ外交手續ニ依リ處理セラ

ルベシ
別段ノ協定ナキ限り司法事務囑託書ハ被請求官憲ノ國語又ハ關係兩國ニ依リ協定セラレタル國語ヲ以テ作成セララルカ又ハ右兩國語ノ一ヲ以テセル翻譯文ニシテ請求國ノ外交官若ハ領事官ニ依リ認證セラレタルモノ若ハ被請求國ノ翻譯者ニ依リ官誓ノ上認證セラレタルモノヲ添附セララルベシ
司法事務囑託ノ施行ニ付テハ性質ノ如何ヲ問ハズ手数料又ハ費用ノ支拂ヲ要スルコトナカルベシ

本條ハ締約國ガ其ノ法令ニ反スル舉證ノ形式又ハ方法ヲ其ノ裁判所ニ於テ採用スルコトヲ約スルモノト解セラレザルベシ

第四條

締約國ニシテ其ノ法令ガ本條約ヲ實施スルニ現ニ充分ナラザルモノハ右目的ニ必要ナル措置ヲ執リ又ハ之ヲ其ノ各自ノ立法機關ニ提案スルコトヲ約ス

第五條

締約國ニシテ其ノ法令ガ現ニ充分ナラザルモノハ第一條ニ掲ゲラレル猥褻ナル物件又ハ其ノ何レカガ同條ニ明記セララルル目的ノ何レカノ爲ニ又ハ其ノ規定ニ反シテ作製セラレ又ハ藏セラルト信ズベキ理由アル場所ノ搜索ニ付並ニ右物件ノ差押、沒收及破毀ニ付規定ヲ設クルコトヲ約ス

第六條

締約國ハ一締約國ノ領域内ニ於テ第一條ノ規定ノ違反アル場合ニ同條ノ該違反ニ關係アル物件ガ他ノ何レカノ締約國ノ領域内ニ於テ作製セラレ又ハ之ヨリ輸入セラレタリト認メララルル場合ニ於テハ千九百十年五月四日ノ協定ニ從ヒ指定セララルル右一締約國ノ官憲ガ右物件ガ來リ又ハ作製セラレタリト信ゼラルル右他ノ締約國ノ對當官憲ヲシテ適當ト認メラルベキ措置ヲ執ルコトヲ得レ

ムル爲之ニ充分ナル情報ヲ直ニ供給スベキコトヲ約ス

第七條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ正文トシ本日ノ日附ヲ有スベク且會議ニ代表者ヲ出セル國、國際聯盟ノ聯盟國及署名ノ爲國際聯盟理事會ヨリ條約ノ謄本ヲ送付セラレタル國ノ署名ノ爲千九百二十四年三月三十一日迄開キ置カルベシ

第八條

本條約ハ批准ヲ要ス批准書ハ國際聯盟事務總長ニ寄託セラルベク事務總長ハ之ガ受領ヲ本條約ノ署名國タル聯盟國及他ノ署名國ニ通告スベシ
國際聯盟事務總長ハ本條約ニ關スル寄託セラレタル各批准書ノ認證謄本ヲ佛蘭西共和國政府ニ直ニ送付スベシ

第九條

千九百二十四年三月三十一日後ニ於テハ會議ニ代表者ヲ出セル國ニシテ本條約ニ署名セザリシモノ、國際聯盟ノ聯盟國又ハ加入ノ爲國際聯盟理事會ヨリ條約ノ謄本ヲ送付セラレタル國ハ何レモ

本條約ニ加入スルコトヲ得

一六

加入ハ國際聯盟事務局ノ記録ニ寄託セラルル爲國際聯盟事務總長ニ送付セラルル文書ニ依リ爲サルベシ事務局總長ハ該寄託ヲ本條約ノ署名國タル國際聯盟ノ一切ノ聯盟國及他ノ署名國ニ直ニ通告スベシ

第十條

本條約ヲ批准シ又ハ之ニ加入シタルトキハ當然ニ且特別ノ通告ナクシテ千九百十年五月四日ノ協定ニ共ニ且全部加入シタルコトト爲ルベク同協定ハ批准シ又ハ加入スル聯盟國又ハ國ノ全領域ニ互リ本條約ト同日ヲ以テ實施セラルベシ

尤モ右千九百十年五月四日ノ協定ノ第四條ハ前項ノ規定ニ依リ無効ト爲ルコトナカルベク何レカノ國ガ右協定ニノミ加入セント欲スル場合ニハ引續キ適用セラルベシ

第十一條

本條約ハ國際聯盟事務總長ニ二通ノ批准書ガ寄託セラレタル後三十日目ヨリ實施セラルベシ

第十二條

本條約ハ國際聯盟事務總長ニ宛テタル文書ヲ以テ廢棄セラルルコトヲ得廢棄ハ事務局總長ガ廢棄書ヲ受領シタル日ノ後一年ニシテ其ノ效力ヲ生ズベク且廢棄ヲ爲ス國際聯盟ノ聯盟國又ハ國ニ關シ

テノミ效力ヲ生ズベシ

國際聯盟事務總長ハ本條約ノ署名國又ハ加入國タル國際聯盟ノ一切ノ聯盟國及他ノ署名國又ハ加入國ニ右廢棄書ノ受領ヲ通告スベシ

本條約ノ廢棄ハ其ノ通告書中ニ明記セラルルニ非ザレバ千九百十年五月四日ノ協定ノ廢棄ニ當然ニ伴フコトナカルベシ

第十三條

本條約ニ署名シ又ハ加入スル國際聯盟ノ聯盟國又ハ國ハ其ノ署名又ハ加入ガ其ノ殖民地、海外屬地、保護領又ハ其ノ主權若ハ權力ノ下ニ在ル地域ノ何レカ又ハ全部ヲ包含セザルコトヲ宣言シ得ベク且右宣言ニ於テ除外セラレタル右殖民地、海外屬地、保護領又ハ地域ノ何レカノ爲ニ後日各別ニ加入ヲ爲スコトヲ得

廢棄モ亦右殖民地、海外屬地、保護領又ハ右主權若ハ權力ノ下ニ在ル地域ノ何レニ關シテモ各別ニ之ヲ爲スコトヲ得ベク且第十二條ノ規定ハ右廢棄ニ適用セラルベシ

第十四條

國際聯盟事務局總長ハ本條約ニ署名シ、之ヲ批准シ、之ニ加入シ又ハ之ヲ廢棄シタル當事國ヲ示ス

一七

特別ノ記録ヲ保存スベシ右記録ハ本條約ニ署名シ又ハ之ニ加入シタル國際聯盟ノ一切ノ聯盟國又ハ他ノ國ヲシテ何時ニテモ之ヲ閱覽スルコトヲ得シムベシ右記録ハ成ルベク屢公表セラルベシ

第十五條

本條約ノ解釋又ハ適用ニ關スル締約國間ノ紛争ハ該紛争ガ直接ノ交渉ニ依リ解決セラレ得ザルトキハ決定ノ爲常設國際司法裁判所ニ付託セラルベシ右紛争ノ當事國ノ一方又ハ雙方ガ常設國際司法裁判所ノ署名議定書ノ當事國タラザル場合ニ於テハ紛争ハ當事國ノ選擇ニ依リ常設國際司法裁判所又ハ仲裁裁判ニ付託セラルベシ

第十六條

本條約ノ署名國又ハ加入國ノ五國ニ依リ本條約ノ改正ノ要求アルトキハ國際聯盟理事會ハ右目的ノ爲會議ヲ招集スベシ何レノ場合ニ於テモ理事會ハ會議招集ノ望マシキヤ否ヤヲ毎五年ノ期間ノ終ニ於テ審議スベシ

右證據トシテ前記全權委員ハ本條約ニ署名セリ

千九百二十三年九月十二日「ジュネーヴ」ニ於テ本書ニ通テ作成ス其ノ一通ハ國際聯盟ノ記録ニ寄託保存セラルベク他ノ一通ハ佛蘭西共和國政府ノ記録ニ寄託保存セラルベシ

「アルバニア」國

獨逸國

埃地利國

白耳義國

「ブラジル」國

英帝國

ビー、ヅリニシユテ、

ゴットフリード、アシユマン

(批准ノ留保ノ下ニ)

政府ノ承認ヲ條件トス エー、プフリューゲル

モーリス、デラエル

アフラニオ、ド、メロ、フランコ

予ハ予ノ署名ガ殖民地、海外屬地、保護領又ハ英國皇帝陛下ノ主權若ハ權力ノ下ニ在ル地域ノ何レヲモ包含セザルコトヲ宣言ス エー、エイチ、ビー
エー、エイチ、ボドキン エス、ダブリュー、ハリス

南「アフリカ」聯邦
「ニュー、ジータラント」

印度

「アイルランド」自由國

「ブルガリア」國

中華民國

「コロンビア」國

「コスタ、リカ」國

「キューバ」國

二〇

バールムニア(註)
ジエー、アリン

子ノ署名ハ西部「サモア」ノ委任統治地域ヲ包含ス
ジエー、エー

ブラバシヤンカー、デー、バクタン

マイクル、マクホソイト

シー、カルフキフ

陳錄

議會ノ後日ノ承認ノ留保ノ下ニ

フランシスコ、ホセ、ウルタイア

政府ノ承認ヲ條件トス マヌエル、エメ、デ、

ペラルタ

コスメ、デ、ラ、トリエンテ

丁抹國

猥褻刊行物ニ關スル國際會議ニ依リ作成セラレタル條約ニ署名スルニ當リ丁抹國政府ノ代表委員タル下名子ハ第四條(第一條參照)ニ關シ次ノ如ク宣言ス即チ第一條ニ掲ゲラルル行爲ハ猥褻文書ヲ發行シ又ハ猥褻圖畫ヲ販賣シ、頒布シ、其ノ他ノ方法ニ依リ遍布シ若ハ一般ニ展示スル者ヲ處罰スル丁抹國刑法第百八十四條ニ規定セラルルモノノ外丁抹國法律ノ規定ニ依リ處罰セラレザルモノトス尙出版ニ關スル丁抹國法令ガ出版犯罪ニ付訴追セラレ得ベキ者ニ關スル特別ノ規定ヲ包含スルコトニ注意セントス右ノ規定ハ第百八十四條ニ掲ゲラルル行爲ガ出版犯罪ト認メラレ得ベキモノナル限リ右行爲ニ適用セララルベシ右ノ諸點ニ關スル丁抹

二一

國法令ノ適用ハ恐ラク近ク爲サルベキ丁抹國刑法
ノ改正ニ俟ツベキモノトス アー、オー

- 西班牙國
- 「フィンランド」國
- 佛蘭西國
- 希臘國
- 「ハイチ」國
- 「ホンデュラス」國
- 「ハンガリー」國
- 伊太利國
- 大日本帝國

アー、オルデンブルグ
 エミリオ、デ、バラシオス
 ウルホ、トイヴォラ
 ガストン、デシャン ジー、アンヌカン
 エヌ、ポリタイス ディー、イー、カストルキス
 エム、ボナミ
 政府ノ承認ヲ條件トス カルロス、グタイエレス
 ドクトル、ゾルタン、バラニアイ
 カヴァッジョニ、ステファノ
 杉村陽太郎
 猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際條約ニ

署名スルニ當リ下名子ハ予ノ署名ガ臺灣、朝鮮、
 關東租借地、樺太及日本國ノ委任統治ノ下ニ在ル
 地域ニ對シ拘束力ヲ有セザルコト竝ニ本條約第十
 五條ノ規定ガ日本國司法官憲ニ依リ日本國ノ法令
 ヲ適用シテ爲サレタル行動ニ影響ヲ及ボスモノニ
 非ザルコトヲ宣言ス
 ヨット、フェルドマンズ
 アイ、ヨニナス
 セー、ジェー、ヴェルメール
 エル、エレス、ブリヴァ
 エル、アー、アマドール
 アー、ド、グラーフ
 プリンズ、アルファ、エド、ドヴレー (政府ノ承認ヲ
 條件トス)

- 「ラトヴィア」國
- 「リシアニア」國
- 「ルクセンブルグ」國
- 「モナコ」國
- 「バナマ」國
- 和蘭國
- 「ベルギー」國

「ポーランド」國
「ダンチッヒ」自由市
「ボルトガル」國
「ルーマニア」國
「サルヴァドル」國
「セルブ、クロアチア、スロヴェニア」王國
暹羅國

エフ、ソカル
ヨット、モグレンフスキー
アツグスト、デ、ヴァスコネロス
ネー、ペー、コムネン
ホータ、グスタフ、グエレロ
エム、ヨヴァノヴィチ

暹羅國政府ハ暹羅國在留外國人ニ對スル暹羅國法令ノ適用ニ關シ行ハルル原則ニ從ヒ右外國人ニ對シ本條約ノ規定ヲ實施スルノ完全ナル權利ヲ留保ス

瑞西國
「チッコスロヴァキア」國
「トルコ」國

グムラス
エー、ペガン
ドクトル、ロベルト、フリーデル
ルシディ

「ウルグアイ」國

ペー、フェルナンデス、イ、メディナ

(註)「ロード、ハイアー」ノ譯名ハ西曆アフリカニ於ケル英國皇帝陛下ノ委任統治地ニ包含ス

宣言

大日本帝國政府ハ千九百二十三年九月十二日猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際條約ニ署名スルニ當リ帝國全權委員ノ爲シタル宣言中同條約第十三條ニ基キテ爲サレタル留保ヲ撤廢スルコトヲ宣言ス

昭和十一年二月十四日

天 佑 ヲ 保 有 シ 萬 世 一 系 ノ 帝 祚 ヲ 踐 メ ル

大日本帝國天皇（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕大正十二年九月十二日「ジ ヌ ネーウ」ニ於テ帝國全權委員ガ關

係各國全權委員ト共ニ議定シ且宣言ヲ附シテ署名シ更ニ昭和十一

年二月十四日附ヲ以テ帝國政府ガ帝國全權委員ノ爲シタル右宣言

ヲ更正スル爲宣言スル所アリタル畏懼刊行物ノ公布及取引ノ禁止

ノ爲ノ國際條約ヲ閱覽時檢シ右帝國政府ノ宣言ニ依リテ更正セラ

レタル帝國全權委員ノ宣言ヲ存シテ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇御即位紀元二千五百九十六年昭和十一年二月二十四日東京

宮城ニ於テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御 名 國 璽

外務大臣 廣田 弘毅

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議

最終議定書

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ハ佛蘭西共和國政府ノ招請ニ依リ國際聯盟ノ主宰
ノ下ニ千九百二十三年八月三十二日「ジュネーヴ」ニ合セリ

會議ハ第三回國際聯盟總會ニ依リ千九百二十二年九月二十八日採擇セラレタル左ノ決議ニ從ヒ開
催セラレタリ

「總會ハ左ノ如ク決定ス

- (一) 聯盟國及猥褻刊行物ノ禁止ノ爲ノ國際運動ノ參加國タル他ノ諸國ヲ該目的ニ必要ナルコト
アルベキ一切ノ措置ニ付援助スルノ權限ヲ聯盟事務局ニ與フルコトヲ聯盟規約第二十四條ニ
從ヒ聯盟理事會ニ請求スルコト
- (二) 千九百十年ノ國際協定ニ關シ一切ノ國ノ注意ヲ喚起スルコトヲ理事會ニ請求スルコト 右
協定ニ署名シ又ハ加入シタル國ハ右協定ノ規定ヲ完全ニ實施スルコトヲ要求セラルベク又未

ダ右協定ノ參加國タラザル國ハ速ニ之ニ加入スルコトヲ勸説セラルベシ

二

(三) 千九百十年ノ條約案ヲ質問書ト共ニ各國ニ送付シ該條約案ニ對スル其ノ意見ヲ國際聯盟事務局ニ提出スベキコトヲ要請スルコトヲ理事會ニ請求スルコト 聯盟事務局ハ受領シタル回答ヲ整理シ且之ヲ一括シテ佛蘭西國政府ニ提出スルト共ニ千九百十年右政府ニ依リ發意セラレタルニ鑑ミ第四回總會ノ時期頃ニ「ジョネーグ」ニ於テ開催セラレ且新條約ノ本文ヲ作成シテ該條約ニ署名スルノ權能ヲ有スル全權委員ヨリ成ルベキ聯盟主宰ノ新會議ヲ招集スルコトヲ理事會ニ代リ右政府ニ要請スベシ

全權代表委員、補助委員、技術顧問又ハ專門委員ノ名及全權委員ニ依リ代表セラルル國ノ名ハ本最終議定書ノ末尾ノ附屬書中ニ之ヲ掲グ

佛蘭西國代表委員「ガストン、デシャン」ハ喝采ヲ以テ會議ノ議長ニ選舉セラレタリ

印度代表委員「サー、ブラバシヤンカー、パッタニ」ハ副議長ニ選舉セラレタリ

千九百十年「パリ」ニ開催セラレタル國際會議ニ依リ確定セラレタル條約案ハ質問書ト共ニ前記國際聯盟總會ノ決議ニ從ヒ千九百二十二年十一月一日一切ノ國ニ送付セラレタリ右質問書ニ對スル回答モ亦國際聯盟事務局ニ依リ一切ノ國ニ轉送セラレ且會議ニ提出セラレタリ

會議ハ其ノ議定ノ開始ニ當リ其ノ討議ノ基礎トシテ千九百十年ノ條約案ヲ採用スルコトニ決定シ該案及質問書ニ對スル回答並ニ千九百十年以來國際事態上ニ起レル變化ヲモ充分審査シタル後新條約ガ起草セラレベシトノ結論ニ全會一致ヲ以テ到達シタリ該條約ハ千九百二十三年九月十二日ノ日附ヲ有シ且本最終議定書ニ附隨ス

會議ハ左ノ陳述、表示及希望ヲ本議定書中ニ挿入スルコトニ決定セリ

一 會議ハ先ヅ佛蘭西共和國政府ニ對シ敬意ヲ表シ且狼狽刊行物ノ流布及取引ノ防禦方法ヲ審査スル爲千九百十年ニ於テ國際會議ヲ招集スルコトヲ同政府ガ發意シタルニ對シ同政府ニ謝意ヲ表セント欲ス會議ハ同政府ノ慶賀スベキ發意ノ價值及其ノ重要ナルコトヲ大ニ認ム該發意ナカリセバ本問題ハ其ノ現在ノ發展程度ニ達スルヲ得ザリシナルベク又該發意ハ之ナキ場合ニ於ケルヨリモ遙ニ容易ニ甚ダ多數ノ國ノ間ニ協定ヲ達成セシメタリ

二 一切ノ國ニ容認セラレ得ベキ「狼狽」ナル語ノ定義ヲ條約中ニ挿入シ得ルヤ否ヤニ關スル問題ノ慎重ナル審査ノ後會議ハ否定的結論ニ到達シ各國ガ其ノ適當ト認ムル意義ヲ右ノ語ニ付スルコトヲ許サルヲ要スルコトヲ千九百十年ノ會議ト同様ニ承認セリ

三 會議ハ條約第二條第二項中ニ掲ゲラルル一事不再理ナル法律上ノ原則ハ例外的場合ヲ除クノ

三

外自己ガ一ノ締約國ニ於テ最終的ニ判決セラレタルコト及有罪判決アリタル場合ニハ自己ガ其ノ刑ニ服シタルコト又ハ時効ニ依リ其ノ刑ヲ免レタルコト又ハ恩赦ヲ受ケタルコトヲ證明スベキ者ガ他ノ締約國ニ於テ同一犯行ニ對シ訴追セラレザルベキコトヲ意味スト解セラルベキコトヲ指摘スルヲ可ナリト認メタリ

四

四 會議ハ猥褻ナル物件ノ提供、引渡、販賣又ハ頒布ノ犯行ガ未成年者ニ對シ行ハレタル場合ニ於テ重シト認メラルルヲ要ストノ意見ヲ一般ニ有シタリ然レドモ條約ガ右ニ關スル規定ヲ包含スルノ必要アリトハ認メラレザリキ

會議ハ各國ノ法令ガ猥褻ナル物件ノ提供、引渡、販賣又ハ頒布ガ年少者ニ對シ行ハルル場合ニ於テ刑ノ加重ヲ定ムベシトノ希望ヲ表明ス正確ナル年齢ニシテ之ニ達セザル年少者ノ保護セララルベキモノヲ決定スルコトハ各國法令ノ事項ナリ

五

會議ニ出席シタル代表委員ノ多數ハ墮胎ノ懲罰及避妊ノ宣傳ニ關シ佛蘭西國政府ニ依リ提案セラレタル規定ヲ條約中ニ挿入スルコトガ可能ナルベシトハ思惟セザリキ右意見ニ賛成シテ主張セラレタル議論ハ、會議ノ目的ニ充分密接ナル關係アリトハ認メラレザル斯ク微妙ナル性質ノ問題ニ關スル訓令ナキヲ以テ各代表ガ意見ヲ定ムルノ權限ヲ有セザルノ事實及右ノ外問題ノ

審査ガ該問題ノ複雑ナルコトト該問題ガ生ゼシムルコトアルベキ意見ノ相違トニ依リ時間ノ餘裕ナキ甚ダ長キ討論ニ陥ルベキノ事實ニ立脚セリ

尤モ一切ノ代表ハ右問題ノ甚ダ重要ナルコト及右問題ノ社會的及道德的見地ヨリ重大ナルコトヲ認ムル旨ヲ聲明セリ千九百十年ノ會議ヲシテ「會議ニ代表者ヲ出セル一切ノ國ノ代表委員ハ右惡ムベキ宣傳ガ生命ノ眞根源ヲ濁汚セシムルコトニ依リ一切ノ國民ヲ脅威スルノ危險ニ付注意ヲ喚起スルコトニ全會一致ヲ以テ同意セリ」トノ宣言ヲ爲スニ至ラシメタル社會的脅威ニ對シ一切ノ國ヲ保護スル爲ノ國際協定ヲ審議スルコトヲ事情ガ許ス口ノ來ランコトヲ望ム旨ノ希望ガ表明セラレタリ但シ「グレート、ブリテン」國及「オーストラリア」ノ代表委員ハ國際協定ニ對スル希望ニハ加ハラザリキ

右ノ如キ宣傳ガ其レ自體ニ於テ猥褻ナリト認メラレ得ル限リ第一條ノ用語ハ充分適當ナル旨或代表委員ニ依リ指摘セラレタリ

六

佛蘭西國代表ハ佛蘭西國法令ガ印刷物ト書籍（書籍ハ普通ノ印刷物以外ノ種類中ニ置カレ且良俗ニ反スル犯行ニ關スル法令以外ノ法令ニ依リ規律セラル）トノ間ニ區別ヲ設クルコトヲ指摘セリ右代表ハ之ガ爲條約第一條ニ掲ゲラルル印刷物ニ關シテ留保ヲ爲スノ餘儀ナキニ至レリ

五

右代表ハ又右代表ガ第一條第三號ニ掲ゲラルル行爲中ヨリ交換及貸借ノ如ク私人ノ間ニ行ハルルモノヲ除外スルコトヲ要スベキ旨ヲ陳ベタリ

白耳義國代表委員ハ出版物ニ依リテ爲ナルル犯行ニ關スル憲法ノ規定ニ依リ、著作ガ判明シ且白耳義國內ニ居住スル場合ニ於テハ發行者、印刷者又ハ頒布者ハ何レモ訴追セララルコトヲ得ザル旨ヲ指摘セリ

瑞典國及丁抹國ノ代表委員ハ書籍販賣ニ關スル自國ノ現行法令ヲ引用シテ同代表委員モ亦第一條ニ於テ使用セララル「印刷物」ナル語ニ關シ留保ヲ爲スコトヲ要スベキ旨ヲ指摘セリ

七 必要アル場合ニハ締約國ノ法令ハ猥褻ナル書籍ガ條約第一條ニ掲ゲラルル印刷物トシテ取扱ハラル様又本條約ニ掲ゲラレ且之ニ依リ處罰セララルル一切ノ犯行ガ書籍以外ノ一切ノ印刷物ト同様猥褻ナル書籍ニ付テモ成立スル様變更セララルベシトノ旨ノ希望表明セラレタリ

八 會議ハ今後得ラルベキ經驗ガ何等カノ改正ノ望マシキコトヲ示ス場合ニ於ケル本條約ノ改正ニ關スル方法ヲ規定スル一條ヲ條約ノ末尾ニ挿入セリ之ガ爲會議ハ條約改正ノ爲ノ會議招集ノ望マシキヤ否ヤヲ毎五年ノ期間ノ終ニ於テ審議スルコトヲ國際聯盟理事會ニ請求ス

九 條約第十六條ヲ適用スルノ目的ヲ以テ會議ハ國際聯盟事務局ガ千九百十年五月四日ノ協定ニ基キ指定セラレタル一切ノ官憲ニ及右官憲ノ指定ナキ國ニ付テハ該國政府ニ猥褻刊行物ノ取引ノ問題ニ關スル質問書ヲ定期ニ發スルコトヲ委託セララルベキコトヲ勸告ス

質問書ニ於テ要求セララルベキ情報ハ起訴セラレタル事件ノ數、犯行ノ明細及訴訟手續ノ結果、他ノ諸國ニ於ケル指定セラレタル官憲ニ報告セラレタル犯行ノ明細並ニ取引ノ範圍及性質ニ關スル一般所見ヲ包含スベシ

十 新條約ハ國際聯盟ノ主宰ノ下ニ開催セラレタル會議ニ依リ作成セラレタル一般國際條約ニ關スル最近ノ前例ニ準據スル形式ニテ起草セラレタリ

十一 千九百二十四年三月三十一日迄ノ條約ヘノ署名ニ關シ及爾後ニ於ケル該條約ヘノ加入ニ關シ規定ヲ設ケタリ國際聯盟事務總長ハ右目的ニ必要ナル手段ヲ執ルコトヲ請求セララル

十二 會議ノ多數ハ新條約及本最終議定書ノ本書ニ通テ作成スベキコト及其ノ一通ハ國際聯盟ノ記錄ニ又他ノ一通ハ千九百十年五月四日ノ協定ノ本書ガ亦寄託セララルル佛蘭西共和國ノ記錄ニ寄託セララルベキコトヲ決定セリ然レドモ便宜上會議ハ條約ニ關スル他ノ一切ノ外交文書ガ國際聯盟ノ記錄ニ寄託セララルベキコトヲ承認セリ

十三 會議ハ又本最終議定書ノ認證原本ガ會議ニ代表者ヲ出セル一切ノ國、國際聯盟ノ一切ノ聯盟國及國際聯盟理事會ガ決定スルコトアルベキ他ノ國ニ送付セラルベキコトヲ決定セリ

十四 會議ハ條約ノ原本ヲ該條約ニ署名シ又ハ加入スベキ旨ノ招請ト共ニ會議ニ代表者ヲ出サザリシ國際聯盟ノ一切ノ聯盟國及理事會ガ決定スルコトアルベキ他ノ國ニ送付スルコトヲ國際聯盟理事會ニ請求ス

右證據トシテ會議ノ代表委員ハ本議定書ニ署名セリ

千九百二十三年九月十二日「ジュネーヴ」ニ於テ本書ニ通テ作成ス其ノ一通ハ國際聯盟ノ記録ニ寄託保存セラルベク他ノ一通ハ佛蘭西共和國政府ノ記録ニ寄託保存セラルベシ

附屬書

猥褻刊行物ノ流布及取引ノ禁止ノ爲ノ國際會議ニ出席シタル代表委員、補助委員及技術顧問ノ名

「アルバニア」國

代表委員 「ビー、プリニシュティ」

「オーストラリア」

代表委員 「エム、エル、シニバド」

補助委員 陸軍大佐「デー、シー、キアマルン」

奧地利國

代表委員 「エー、プフリューグル」

白耳義國

代表委員 「モーリス、デニラエル」

中華民國

代表委員 陳錄

補助委員 王會忠

「コロンビア」國

代表委員 「ウルチア」

「コスタ、リカ」國

代表委員 「デ、ベラルタ」

「チッコスロツアキア」國

代表委員 「ロベルト、フリーデル」

「キューバ」國

代表委員 「デ、ラ、トリエンテ、イ、ベラサ」

補助委員 「ルイス、サンタマリア」

丁抹國

代表委員 「アー、オルデンブルグ」

「フィンランド」國

代表委員 「カール、エンケル」

補助委員 「ウルホ、トイゾラ」

佛蘭西國

代表委員 「ガストン、デシアン」

補助委員 「アンヌカン」

「グレート、ブリテン」國

代表委員 「サー、アーチボールド、ボドキン」

技術顧問 「エス、ダブリュー、ハリス」

希臘國

代表委員 「ニコラス、ポリティス」

補助委員 「ジャン、ポリティス」

補助委員 「デー、イー、カストルキス」

「グアテマラ」國

代表委員 「エフ、フィグエロア」

「ハンガリー」國

代表委員 「ゾルタン、バラニアイ」
「ハイティ」國

代表委員 「ボナミ」

印度

代表委員 「サー、ブラバシャンカー、デー、バッタニ」

伊太利國

代表委員 「カヴァツォニ」

大日本帝國

代表委員 松田道一

専門委員 井野英一

専門委員 笠井英一

「ラトヴィア」國

代表委員 「ユリイス、フェルドマンズ」

「リヌアニア」國

代表委員 「イニャース、ヨニナス」

「ルクセンブルグ」國

代表委員 「シャルル、ヴェルメール」

「モナコ」國

代表委員 「プエタヴァン」

和蘭國

代表委員 「アー、ド、グラーフ」

「ベルシア」國

代表委員 「アルファ・エド・ドグレー」殿下

「ポーランド」國

代表委員 「ソカル」

「セルブ、クロアート、スロヴェニア」王國

代表委員 「ミルティン、ヨヴァノヴィチ」

暹羅國

代表委員 「ダムラス、ダムロン」殿下
西班牙國

代表委員 「デ、バラシオス」

瑞典國

代表委員(顧問ノ資格ニ於ケル) 「オエステン、ウンデン」

補助委員 「エリク、ボヘマン」

瑞西國

代表委員 「ベガン」

補助委員 「フランツ、ステンブアリ」

「アメリカ」合衆國

代表委員(顧問ノ資格ニ於ケル) 「アレグザンダー、アール、マグルーダ」

「ツルグワイ」國

代表委員 「フェルナンデス、イ、メディナ」

「ツェネズエラ」國

代表委員 「シー、ズメタ」
會議事務總長 「デーム、ラチエル、クラウディ」

猥褻刊行物ノ流布ノ禁止ニ關スル協定

後記諸國ノ政府ハ猥褻刊行物ニ關スル犯行ノ捜査及禁止ノ目的ヲ以テ情報ノ相互的交換ヲ各自ノ法令ノ範圍内ニ於テ容易ナラシムルコトヲ均シク希望シ之ガ爲協定ヲ締結スルコトニ決シ依テ其ノ全權委員ヲ任命セリ右全權委員ハ千九百十年四月十八日ヨリ五月四日ニ至ル迄「パリ」ニ會合シ左ノ諸規定ヲ協定セリ

第一條

各締約國政府ハ左ノ任務ヲ有スル官憲ヲ設ケ又ハ指定スルコトヲ約ス

- 一 猥褻ナル文書、素描、圖畫又ハ物件ニ關シ自國ノ國內法上犯行ヲ構成スル行爲ニシテ其ノ構成要素ガ國際的性質ヲ有スルモノノ捜査及禁止ヲ容易ナラシメ得ル一切ノ情報ヲ蒐集スルコト
- 二 總テ國內法ノ範圍内ニ於テ前號ニ掲ゲラルル刊行物又ハ物件ノ輸入ヲ阻止シ及共ノ押收ヲ確保シ又ハ進捗セシムベキ一切ノ情報ヲ供給スルコト
- 三 本協定ノ目的ニ關シ自國ニ於テ既ニ制定セラレ又ハ制定セラルルコトアルベキ法令ヲ通知スルコト

締約國政府ハ本條ニ從ヒ設ケラレ又ハ指定セラレタル官憲ヲ佛蘭西共和國政府ヲ經テ互ニ通報スベシ

第二條

第一條ニ掲ゲラルル官憲ハ他ノ各締約國ニ設ケラルル同種ノ部局ト直接ニ通信スルノ權限ヲ有スベシ

第三條

第一條ニ掲ゲラルル官憲ハ第一條ニ掲ゲラルル犯行ニ付テハ自國ニ於テ刑ノ言渡ヲ受ケタル犯罪人ノ名簿ヲ自國ノ國內法ノ反對ナキトキハ一切ノ他ノ締約國ノ同種ノ官憲ニ送付スルノ義務ヲ有スベシ

第四條

非署名國ハ本協定ニ加入スルコトヲ得非署名國ハ文書ヲ以テ右趣旨ノ自國ノ意思ヲ通告スベク該文書ハ佛蘭西共和國政府ノ記録ニ寄託セラルベシ右政府ハ外交手續ニ依リ其ノ認證牒本ヲ各締約國ニ送付シ同時ニ之ニ其ノ寄託ノ日ヲ通知スベシ

第五條

本協定ハ右ノ日ノ後六月ニシテ加入國ノ全領域ニ互リ實施セララルベク該國ハ茲ニ締約國ト爲ルベシ

本協定ハ批准書寄託ノ日ノ後六月ニシテ實施セララルベシ

締約國中ノ一國ガ本協定ヲ廢棄シタル場合ニハ右廢棄ハ該國ニ關シテノミ效力ヲ生ズベシ

廢棄ハ文書ヲ以テ通告セララルベク該文書ハ佛蘭西共和國政府ノ記録ニ寄託セラルベシ右政府ハ外交手續ニ依リ其ノ認證牒本ヲ各締約國ニ送付シ同時ニ之ニ其ノ寄託ノ日ヲ通知スベシ

本協定ハ右ノ日ノ後十二月ニシテ之ヲ廢棄シタル國ノ全領域ニ互リ其ノ效力ヲ失フベシ

第六條

本協定ハ批准セララルベク且其ノ批准書ハ締約國中ノ六國ガ之ガ寄託ヲ爲シ得ルニ至リタルトキ直ニ「パリ」ニ於テ寄託セラルベシ

批准書ノ各寄託ニ付テハ一ノ調書ヲ作成スベク其ノ認證牒本一通ハ外交手續ニ依リ各締約國ニ交付セララルベシ

第七條

締約國ガ本協定ヲ其ノ殖民地、屬地又ハ領事裁判管轄地域ノ一又ハ二以上ニ於テ實施セント欲スルトキハ該國ハ右趣旨ノ意思ヲ文書ヲ以テ通告スベク該文書ハ佛蘭西共和國政府ノ記録ニ寄託セラルベシ右政府ハ外交手續ニ依リ其ノ認證牒本ヲ各締約國ニ送付シ同時ニ之ニ其ノ寄託ノ日ヲ通

知スベシ

本協定ハ右ノ日ノ後六月ニシテ通告書ニ掲ゲラルル殖民地、屬地又ハ領事裁判管轄地域ニ於テ實施セラルベシ

締約國中ノ一國ニ依ル共ノ殖民地、屬地又ハ領事裁判管轄地域ノ一又ハ二以上ノ爲ニスル本協定ノ廢棄ハ本條第一項ニ定メラルル形式及條件ニ依リ爲サルベシ右廢棄ハ廢棄書ヲ佛蘭西共和國政府ノ記録ニ寄託シタル日ノ後十二月ニシテ效力ヲ生ズベシ

第八條

本協定ハ千九百十年五月四日ノ日附ヲ有スベク猥褻刊行物ノ流布ノ禁止ニ關スル會議ニ代表者ヲ出セル國ノ全權委員ニ依リ來ル七月三十一日迄「パリ」ニ於テ署名セラルルコトヲ得ベシ
千九百十年五月四日「パリ」ニ於テ本書一通ヲ作成ス其ノ認證謄本一通ハ各署名國政府ニ交付セラルベシ

獨逸國

アルブレヒト、レンツェ
クルト、ヨエル

(印)
(印)

奧地利國及「ハンガリー」國

奧地利國

奧地利、ハンガリー國代理大使アー、ネメス(印)
省參事官ヨット、アイヒホッフ

「ハンガリー」國

省參事官ゲー、レルス

白耳義國

ジュール、ルジュース

「ブラジル」國

イジドール、モー

丁抹國

ジー、セー、ド、スーザ、バンデイラ

西班牙國

セー、エー、コールド

合衆國

オクタヴィオ、クアルテロ

佛蘭西國

エー、ベリー・ブランチャード

「グレート、ブリタン」國

イー、ダズリ、ファナル

伊太利國

エフ、エス、ブラック

伊太利國

ジー、エー、エイトキン

伊太利國

ジー、チー、ブツァンティ

五

和蘭國

「ポルトガル」國
露西亞國

瑞西國

シエロラモ、カルグイ

アー、ド、ステュエルス

レターン、マカーレ

伯爵ド、ソーザ、ローザ

アレキシス、ド、ベルガルド

グラディミール、デリュンスキ

ラルディ

六

(印) (印) (印) (印) (印) (印)

Pour les États-Unis :

(L. S.) Signé : A. BAILLY-BLANCHARD.

Pour la France :

(L. S.) Signé : R. BÉRENGER.

Pour la Grande-Bretagne :

(L. S.) Signé : E. W. FARNALL.

(L. S.) — F. S. BULLOCK.

(L. S.) — G. A. AITKEN.

Pour l'Italie :

(L. S.) Signé : J. C. BUZZATTI.

(L. S.) — GEROLAMO CALVI.

Pour les Pays-Bas :

(L. S.) Signé : A. DE STUERS.

(L. S.) — RETHAAN MACARE.

Pour le Portugal :

(L. S.) Signé : COMTE DE SOUZA ROZA.

Pour la Russie :

(L. S.) Signé : ALEXIS DE BELLEGARDE.

(L. S.) — WLADIMIR DÉRUGINSKY.

Pour la Suisse :

(L. S.) Signé : LARDY.

possessions ou circonscriptions consulaires judiciaires, il notifiera son intention à cet effet par un acte qui sera déposé dans les archives du Gouvernement de la République française. Celui-ci en enverra, par la voie diplomatique, copie certifiée conforme à chacun des États contractants et les avisera, en même temps, de la date du dépôt.

Six mois après cette date, l'Arrangement entrera en vigueur dans les colonies, possessions ou circonscriptions consulaires judiciaires visées dans l'acte de notification.

La dénonciation de l'Arrangement par un des États contractants pour une ou plusieurs de ses colonies, possessions ou circonscriptions consulaires judiciaires s'effectuera dans les formes et conditions déterminées à l'alinéa 1^{er} du présent article. Elle portera effet douze mois après la date du dépôt de l'acte de dénonciation dans les archives du Gouvernement de la République française.

ART. 8.

Le présent Arrangement, qui portera la date du 4 mai 1910, pourra être signé à Paris, jusqu'au 31 juillet suivant, par les Plénipotentiaires des Puissances représentées à la Conférence relative à la répression de la circulation des Publications obscènes.

Fait à Paris, le quatre mai mil neuf cent-dix, en un seul exemplaire, dont une copie conforme sera délivrée à chacun des Gouvernements signataires.

Pour l'Allemagne :

(L. S.) Signé : ALBRECHT LENTZE.

(L. S.) — CURT JOËL.

Pour l'Autriche et pour la Hongrie :

(L. S.) Signé : A. NEMES, Chargé d'Affaires d'Autriche-Hongrie.

Pour l'Autriche :

(L. S.) Signé : J. EICHHOFF, Conseiller de Section Impérial Royal autrichien.

Pour la Hongrie :

(L. S.) Signé : G. IERS, Conseiller ministériel Royal hongrois.

Pour la Belgique :

(L. S.) Signé : JULES LEJEUNE.

(L. S.) — ISIDORE MAUS.

Pour le Brésil :

(L. S.) Signé : J. C. DE SOUZA BANDEIRA.

Pour le Danemark :

(L. S.) Signé : C. E. COLD.

Pour l'Espagne :

(L. S.) Signé : OCTAVIO CUARTERO.

célébrer la saïzie, le tout dans les limites de la législation interne;

3° De communiquer les lois qui auraient déjà été rendues ou qui viendraient à l'être dans leurs États, relativement à l'objet du présent Arrangement.

Les Gouvernements contractants se feront connaître mutuellement, par l'entremise du Gouvernement de la République française, l'autorité établie ou désignée conformément au présent article.

ART. 2.

L'autorité désignée à l'article 1^{er} aura la faculté de correspondre directement avec le service similaire établi dans chacun des autres États contractants.

ART. 3.

L'autorité désignée à l'article 1^{er} sera tenue, si la législation intérieure de son pays ne s'y oppose pas, de communiquer les bulletins des condamnations prononcées dans ledit pays aux autorités similaires de tous les autres États contractants, lorsqu'il s'agira d'infractions visées par l'article 1^{er}.

ART. 4.

Les États non signataires sont admis à adhérer au présent Arrangement. Ils notifieront leur intention à cet effet par un acte qui sera déposé dans les archives du Gouvernement de la République française. Celui-ci en enverra, par la voie diplomatique, copie certifiée conforme à chacun des États contractants et les avisera, en même temps, de la date du dépôt.

Six mois après cette date, l'Arrangement entrera en vigueur dans l'ensemble du territoire de l'État adhérent, qui deviendra ainsi État contractant.

ART. 5.

Le présent Arrangement entrera en vigueur six mois après la date du dépôt des ratifications.

Dans le cas où l'un des États contractants le dénoncerait, cette dénonciation n'aurait d'effet qu'à l'égard de cet État.

La dénonciation sera notifiée par un acte qui sera déposé dans les archives du Gouvernement de la République française. Celui-ci en enverra, par la voie diplomatique, copie certifiée conforme à chacun des États contractants et les avisera en même temps de la date du dépôt.

Douze mois après cette date, l'Arrangement cessera d'être en vigueur dans l'ensemble du territoire de l'État qui l'aura dénoncé.

ART. 6.

Le présent Arrangement sera ratifié, et les ratifications en seront déposées à Paris dès que six des États contractants seront en mesure de le faire.

Il sera dressé de tout dépôt de ratifications un procès-verbal, dont une copie, certifiée conforme, sera remise, par la voie diplomatique, à chacun des États contractants.

ART. 7.

Si un État contractant désire la mise en vigueur du présent Arrangement dans une ou plusieurs de ses colonies,

ARRANGEMENT RELATIF À LA RÉPRESSION DE LA
CIRCULATION DES PUBLICATIONS OBSCÈNES.

Les Gouvernements des Puissances désignées ci-après, également désireux de faciliter, dans la mesure de leurs législations respectives, la communication mutuelle de renseignements en vue de la recherche et de la répression des délits relatifs aux Publications obscènes, ont résolu de conclure un Arrangement à cet effet et ont, en conséquence, désigné leurs Plénipotentiaires qui se sont réunis en Conférence, à Paris, du 18 avril au 4 mai 1910, et sont convenus des dispositions suivantes:

ARTICLE PREMIER.

Chacun des Gouvernements contractants s'engage à établir ou à désigner une autorité chargée:

1° De centraliser tous les renseignements pouvant faciliter la recherche et la répression des actes constituant des infractions à leur législation interne en matière d'écrits, dessins, images ou objets obscènes, et dont les éléments constitutifs ont un caractère international;

2° De fournir tous renseignements susceptibles de mettre obstacle à l'importation des publications ou objets visés au paragraphe précédent comme aussi d'en assurer ou d'en ac-

ROYAUME DES SERBES,
CROATES ET SLOVÈNES

M. MILUTIN JOVANOVITCH Délégué.

SIAM

S. A. le prince DAMRAS DAMRONG Délégué.

SUÈDE

M. OESTEN UNDEN Délégué (à titre consult.)

M. ERIK BOHEMAN Délégué suppléant.

SUISSE

M. BÉGUIN Délégué.

M. FRANZ STÄMPFLI Délégué suppléant.

TCHÉCOSLOVAQUIE

M. ROBERT FLIEDER Délégué.

URUGUAY

M. FERNANDEZ Y MEDINA Délégué.

VENEZUELA

M. C. ZUMETA Délégué.

Secrétaire générale de la Conférence: Dame RACHEL CROWDY.

SIAM

Prince DAMRAS DAMRONG Delegate.

SPAIN

M. DE PALACIOS Delegate.

SWEDEN

M. OESTEN UNDEN Delegate (in an advisory capacity).

M. ERIK BOHEMAN Substitute Delegate.

SWITZERLAND

M. BÉGUIN Delegate.

M. FRANZ STÄMPFLI Substitute Delegate.

UNITED STATES OF AMERICA

M. ALEXANDER R. MAGRUDER Delegate (in an advisory capacity).

URUGUAY

M. FERNANDEZ Y MEDINA Delegate.

VENEZUELA

M. C. ZUMETA Delegate.

Secretary-General of the Conference: Dame RACHEL CROWDY.

HAÏTI		
M. BONAMY		Délégué.
INDE		
SIR PRABHASHANKAR D. PATTANI		Délégué.
ITALIE		
M. CAVAZZONI		Délégué.
JAPON		
M. MATSUDA		Délégué.
M. INO		Expert.
M. KASAI		Expert.
LETTONIE		
M. JULIJS FELDMANS		Délégué.
LITUANIE		
M. IGNACE JONYNAS		Délégué.
LUXEMBOURG		
M. CHARLES VERMAIRE		Délégué.
MONACO		
M. BUTAVAND		Délégué.
PAYS-BAS		
M. A. DE GRAAF		Délégué.
PERSE		
S. A. le prince ARFA-ED-DOWLEH		Délégué.
POLOGNE		
M. SOKAL		Délégué.

INDIA		
SIR PRABHASHANKAR D. PATTANI		Delegate.
ITALY		
M. CAVAZZONI		Delegate.
JAPAN		
M. MATSUDA		Delegate.
M. INO		Expert.
M. KASAI		Expert.
LATVIA		
M. JULIJS FELDMANS		Delegate.
LITHUANIA		
M. IGNACE JONYNAS		Delegate.
LUXEMBURG		
M. CHARLES VERMAIRE		Delegate.
MONACO		
M. BUTAVAND		Delegate.
NETHERLANDS		
M. A. DE GRAAF		Delegate.
PERSIA		
Prince ARFA-ED-DOWLEH		Delegate.
POLAND		
M. SOKAL		Delegate.
KINGDOM OF THE SERBS, CROATS AND SLOVENES		
M. MILUTIN JOVANOVIČIĆ		Delegate.

CUBA		
M. DE LA TORRIENTE Y PERAZA	Délégué.	
M. LUIS SANTAMARIA	Délégué suppléant.	
DANEMARK		
M. A. OLDENBURG	Délégué.	
ESPAGNE		
M. DE PALACIOS	Délégué.	
ETATS-UNIS D'AMÉRIQUE		
M. ALEXANDER R. MAGRUDER	Délégué (à titre consult.)	
FINLANDE		
M. CARL ENCKELL	Délégué.	
M. URHO TOIVOLA	Délégué suppléant.	
FRANCE		
M. GASTON DESCHAMPS	Délégué.	
M. HENNEQUIN	Délégué suppléant.	
GRANDE-BRETAGNE		
SIR ARCHIBALD BODKIN	Délégué.	
M. S. W. HARRIS	Conseiller technique.	
GRÈCE		
M. NICOLAS POLITIS	Délégué.	
M. JEAN POLITIS	Délégué suppléant.	
M. D. E. CASTORKIS	Délégué suppléant.	
GUATÉMALA		
M. F. FIGUEROA	Délégué.	
HONGRIE		
M. ZOLTAN BARANYAI	Délégué.	

CZECHOSLOVAKIA		
M. ROBERT FLIEDER	Delegate.	
CUBA		
M. DE LA TORRIENTE Y PERAZA	Delegate.	
M. LUIS SANTAMARIA	Substitute Delegate.	
DENMARK		
M. A. OLDENBURG	Delegate.	
FINLAND		
M. CARL ENCKELL	Delegate.	
M. URHO TOIVOLA	Substitute Delegate.	
FRANCE		
M. GASTON DESCHAMPS	Delegate.	
M. HENNEQUIN	Substitute Delegate.	
GREAT BRITAIN		
SIR ARCHIBALD BODKIN	Delegate.	
MR. S. W. HARRIS	Technical Adviser.	
GREECE		
M. NICOLAS POLITIS	Delegate.	
M. JEAN POLITIS	Substitute Delegate.	
M. D. E. CASTORKIS	Substitute Delegate.	
GUATEMALA		
M. F. FIGUEROA	Delegate.	
HUNGARY		
M. ZOLTAN BARANYAI	Delegate.	
HAITI		
M. BONAMY	Delegate.	

ANNEXE.

NOMS DES DÉLÉGUÉS, DÉLÉGUÉS SUPPLÉANTS ET
CONSEILLERS TECHNIQUES PRÉSENTS À LA
CONFÉRENCE INTERNATIONALE POUR LA RÉ-
PRESSION DE LA CIRCULATION ET DU
TRAFIC DES PUBLICATIONS OBSCÈNES.

ALBANIE		
M. B. BLINISHTI		Délégué.
AUSTRALIE		
M. M. L. SHEPHERD		Délégué.
M. le colonel D. C. CAMERON		Délégué suppléant
AUTRICHE		
M. E. PFLÜGL		Délégué.
BELGIQUE		
M. MAURICE DULLAERT		Délégué.
CHINE		
M. TCHENG LOH		Délégué.
M. WANG TSENG-SZE		Délégué suppléant.
COLOMBIE		
M. URRUTIA		Délégué.
COSTA-RICA		
M. DE PERALTA		Délégué.

ANNEX.

NAMES OF DELEGATES, SUBSTITUTE DELEGATES AND
TECHNICAL ADVISERS PRESENT AT THE INTER-
NATIONAL CONFERENCE FOR THE SUPPRESSION
OF THE CIRCULATION OF AND TRAFFIC
IN OBSCENE PUBLICATIONS.

ALBANIA		
M. B. BLINISHTI		Delegate.
AUSTRALIA		
Mr. M. L. SHEPHERD		Delegate.
Colonel D. C. CAMERON		Substitute Delegate.
AUSTRIA		
M. E. PFLÜGL		Delegate.
BELGIUM		
M. MAURICE DULLAERT		Delegate.
CHINA		
M. TCHENG LOH		Delegate.
M. WANG TSENG-SZE		Substitute Delegate.
COLOMBIA		
M. URRUTIA		Delegate.
COSTA RICA		
M. DE PERALTA		Delegate.

vention seraient déposés aux archives de la Société des Nations.

13° La Conférence a décidé également que des copies authentiques du présent Acte final seraient communiquées à tous les Etats représentés à la Conférence, à tous les Membres de la Société des Nations et à tous les autres Etats que pourrait désigner le Conseil de la Société des Nations.

14° La Conférence prie le Conseil de la Société des Nations de communiquer, en même temps qu'une invitation à signer la Convention ou à y adhérer, des exemplaires de la Convention à tous les Membres de la Société des Nations qui ne sont pas représentés à la Conférence et à tous autres Etats que le Conseil pourrait désigner.

EN FOI DE QUOI les délégués à la Conférence ont signé le présent Acte.

FAIT à Genève, le douze septembre mil neuf cent vingt-trois, en deux exemplaires originaux, dont l'un devra être déposé aux archives de la Société des Nations et l'autre aux archives du Gouvernement de la République française.

Instruments concerning the Convention should be deposited in the archives of the League of Nations.

13. The Conference also decided that authenticated copies of the present Final Act should be communicated to all the States represented at the Conference, to all the Members of the League of Nations, and to such other States as the Council of the League of Nations might determine.

14. The Conference requests the Council of the League of Nations to communicate copies of the Convention to all the Members of the League of Nations not represented at the Conference, and to such other States as the Council may determine, together with an invitation to sign or adhere to the Convention.

IN FAITH WHEREOF the Delegates of the Conference have signed the present Act.

DONE at Geneva, the twelfth day of September one thousand nine hundred and twenty-three, in two originals, of which one shall remain deposited in the archives of the League of Nations and the other shall remain deposited in the archives of the Government of the French Republic,

9° En vue de l'application de l'article XVI de la Convention, la Conférence recommande que le Secrétariat de la Société des Nations soit périodiquement chargé d'établir un questionnaire sur le commerce des publications obscènes et de l'envoyer à toutes les autorités désignées par l'Arrangement du 4 mai 1910. En ce qui concerne les Etats qui n'ont pas désigné eux-mêmes des autorités, le questionnaire sera envoyé directement à leurs gouvernements.

Les renseignements prévus par le questionnaire comprendront le nombre des délits poursuivis, leur nature et le résultat des poursuites, la nature des délits signalés aux autorités d'autres Etats, ainsi que des observations générales sur l'intensité et la nature du commerce visé.

10° La rédaction de la nouvelle Convention se conforme aux précédents les plus récents en matière de Conventions internationales générales élaborées par des Conférences tenues sous les auspices de la Société des Nations.

11° Les dispositions prises prévoient la possibilité de signer la Convention jusqu'au 31 mars 1924 et d'y adhérer après cette date. Le Secrétaire général de la Société des Nations est prié de prendre les mesures nécessaires à cet effet.

12° La Conférence a décidé que la nouvelle Convention et le présent Acte final seraient établis en deux originaux, dont l'un serait déposé aux archives de la Société des Nations et l'autre aux archives du Gouvernement de la République française, déjà dépositaire de l'original de l'Arrangement du 4 mai 1910. Mais, pour des raisons de commodité, elle a admis que tous les autres instruments diplomatiques relatifs à la Con-

9. With a view to the application of Article XVI of the Convention, the Conference recommends that the Secretariat of the League of Nations be charged with issuing periodically a questionnaire on the subject of the traffic in obscene publications to all authorities designated under the Agreement of May 4th, 1910, and in the case of any country where no such authority has been designated, to the Government of such country.

The information to be asked for in the questionnaire should include the number of cases where proceedings have been instituted, particulars of the offences and the results of the proceedings, particulars of offences reported to designated authorities in other countries, and observations generally as to the extent and nature of the traffic.

10. The new Convention has been drafted in such form as to follow the more recent precedents with reference to general international conventions drawn up by conferences held under the auspices of the League of Nations.

11. Provision has been made for the signing of the Convention until March 31st, 1924, and for adhesion to it thereafter. The Secretary-General of the League of Nations is requested to take the necessary steps to this end.

12. The majority of the Conference decided that the new Convention and the present Final Act should be drawn up in two originals, of which one should be deposited in the archives of the League of Nations and the other in the archives of the French Republic, where the original of the Agreement of May 4th, 1910, is also deposited. But, for the sake of convenience, the Conference admitted that all other diplomatic

imprimés visés dans l'article I de la Convention.

Elle a également déclaré qu'elle devait exclure des opérations visées à l'alinéa 3 de l'article I toutes celles qui, comme l'échange et le prêt, seraient effectuées entre particuliers.

Le délégué belge a fait observer qu'en vertu d'une règle constitutionnelle en matière de délit commis par la voie de la presse, lorsque l'auteur est connu et domicilié en Belgique, l'éditeur, l'imprimeur ou le distributeur ne peut être poursuivi.

De leur côté, les délégués de la Suède et du Danemark, invoquant les lois sur la librairie en vigueur dans leurs pays, ont fait connaître qu'ils devaient, eux aussi, faire une réserve au sujet du terme "imprimés" employé dans l'article I.

7° Des vœux ont été exprimés tendant à ce que les législations des divers Etats contractants soient, s'il y a lieu, modifiées de telle façon que le livre obscène rentre dans les imprimés visés par l'article I de la Convention et que tous les faits visés et réprimés par cette Convention s'appliquent au livre obscène comme aux autres imprimés.

8° La Conférence a inséré à la fin de la Convention un article prévoyant le dispositif nécessaire pour procéder à la révision de la Convention actuelle, au cas où l'expérience démontrerait que cette révision est souhaitable. A cet effet, la Conférence prie le Conseil de la Société des Nations d'examiner, à la fin de chaque période de cinq ans, s'il est désirable de convoquer une Conférence chargée de reviser la Convention.

sequently, bound to formulate a reserve concerning the printed matter referred to in Article I of the Convention.

It also stated that it would have to exclude from the operations referred to in paragraph 3 of Article I those which, like exchange and loan, were carried on between private individuals.

The Belgian delegate pointed out that, in virtue of a provision of the constitution relating to offences committed through the Press, when the author is known and domiciled in Belgium, neither the publisher nor the printer nor the distributor can be prosecuted.

The delegates of Sweden and Denmark, referring to the laws relating to the sale of books in force in their countries, pointed out that they also would have to make a reserve concerning the term "printed matter" employed in Article I.

7. A wish was expressed to the effect that the legislation of the High Contracting Parties should be altered, if necessary, in such a way that obscene books should count as printed matter falling under Article I of the Convention, and that all offences falling under this Convention and punished by it should apply to obscene books as well as to all other printed matter.

8. The Conference has included an article at the end of the Convention providing machinery for revision of the present Convention should the experience to be gained henceforward indicate that any revision is desirable. To this end, the Conference requests the Council of the League of Nations to consider at the end of each period of five years the desirability of calling a conference for a revision of the Convention.

semblant pas, d'ailleurs, se rattacher d'une manière assez intime à l'objet de la Conférence, les délégations n'étaient pas en mesure de se prononcer; que, d'autre part, l'examen de la question, en raison de sa complexité et des divergences de vues qu'elle était encore susceptible de soulever, aurait comporté un très long débat pour lequel le temps faisait défaut.

Néanmoins, toutes les délégations tiennent à déclarer qu'elles reconnaissent le haut intérêt de cette question et sa gravité au point de vue social et moral. Le souhait a été exprimé qu'un jour vienne où les circonstances permettent d'envisager la possibilité d'un accord international pour la défense commune des Etats contre un fléau social qui a motivé, de la part de la Conférence de 1910, la déclaration ci-après: "Les délégués de tous les pays participant à la Conférence ont été unanimes pour signaler le danger que cette immonde propagande fait courir aux nations en tarissant les sources mêmes de la vie." Toutefois, les délégués de la Grande-Bretagne et de l'Australie ont fait des réserves au sujet du vœu relatif à cet accord international.

Certains délégués ont fait observer que, en tant que cette propagande peut être considérée comme obscène en soi, les termes de l'article I s'appliquent parfaitement.

6° La délégation française a exposé que, la législation française distinguant entre les imprimés et le livre, qui est placé en dehors des imprimés ordinaires et régi par une autre loi que la loi sur les outrages aux bonnes mœurs, elle était en conséquence tenue de formuler une réserve en ce qui touche les

instruction on a subject of so delicate a nature, which did not seem to be sufficiently closely connected with the objects of the Conference, the Delegations were not entitled to formulate an opinion; and that, moreover, the examination of the question, by reason of its complexity and the divergence of views to which it might give rise, would lead to a very long discussion for which there was no time.

Nevertheless, all the Delegations declared that they recognised the great importance of this question and its gravity from a social and moral point of view. The desire was expressed that the day would arrive when circumstances would permit the consideration of an international accord for the defence of all States against a social menace which had drawn from the Conference of 1910 the following declaration: "The delegates of all the countries represented at the Conference have unanimously agreed to call attention to the danger with which, by drying up their very sources of life, this vile propaganda threatens all nations." The Delegates of Great Britain and Australia, however, did not associate themselves with the desire for an international accord.

It was pointed out by some of the delegates that, so far as any such propaganda may be considered to be in itself obscene, the terms of Article I are fully adequate.

6. The French Delegation pointed out that French legislation distinguishes between printed matter and books, which are placed in a category apart from ordinary printed matter and are regulated by a law other than the law concerning offences against public decency. It was, con-

le soin de donner à ce mot la signification qui lui paraîtra exacte.

3° La Conférence a jugé utile d'indiquer que le principe juridique *non bis in idem*, auquel fait allusion le second paragraphe de l'article II de la Convention, doit être entendu en ce sens qu'il est désirable que, sauf dans des cas exceptionnels, l'individu qui justifiera avoir été jugé définitivement dans un pays contractant et, en cas de condamnation, avoir subi ou prescrit sa peine ou obtenu sa grâce, ne puisse être poursuivi pour le même fait dans un autre pays.

4° De l'avis général de la Conférence, les délits d'offre, de remise, de vente ou de distribution d'obscénités devraient être considérés comme plus graves, lorsqu'ils sont commis à l'égard des mineurs. Mais il n'a pas semblé que la Convention dût contenir une disposition à cet égard.

La Conférence émet le vœu que chaque législation édicte une aggravation de peine si l'offre, la remise, la vente ou la distribution d'obscénités est faite à la jeunesse. Il appartient à chaque législation de préciser l'âge exact au-dessous duquel il y a lieu de protéger la jeunesse.

5° La plupart des délégués présents à la Conférence n'ont pas cru possible d'incorporer dans la Convention les dispositions proposées par le délégué français, concernant la provocation à l'avortement et la propagande anticonceptionnelle. Les motifs invoqués à l'appui de cette opinion étaient tirés de ce que, faute d'instructions sur un sujet aussi délicat et ne

be allowed to attach to this word the signification which it might consider suitable.

3. The Conference deemed it advisable to indicate that the legal principle *non bis in idem* alluded to in the second paragraph of Article II of the Convention should be taken to mean that, save in exceptional cases, a person who shall prove that he has been finally judged in one contracting country, and, in the event of condemnation, that he has undergone his sentence or that it has been commuted or that he has obtained a reprieve, should not be prosecuted for the same offence in another contracting country.

4. The Conference generally was of opinion that the offences of offering, delivering, selling or distributing obscene objects must be held to be aggravated when committed in respect of minors. But there did not appear to be any need for the Convention to contain a provision in this connection.

The Conference expresses the wish that the legislation of each country may prescribe an aggravation of the penalty if the offer, delivery, sale or distribution of obscene matters or things is made to young people. To define the exact age beneath which young people should be protected is a matter for the several legislations.

5. The majority of the delegates present at the Conference did not consider that it would be possible to incorporate in the Convention the provisions proposed by the French Government concerning incitement to abortion and anti-conception propaganda. The arguments invoked in favour of this opinion were based on the fact that in default of

ont été transmises par le Secrétariat de la Société des Nations également à tous les Etats et soumises à la Conférence.

Au début de ses travaux, la Conférence a décidé de prendre le projet de Convention de 1910 comme base de discussion et, après un examen approfondi de ce projet et des réponses au questionnaire, ainsi que des changements survenus depuis 1910 dans la situation internationale, la Conférence a estimé, à l'unanimité, qu'il convenait de rédiger une nouvelle Convention qui porte la date du 12 septembre 1923 et qui est suivie du présent Acte final.

La Conférence a résolu d'incorporer dans cet Acte final les déclarations, indications et vœux ci-après :

1° Elle tient tout d'abord à rendre hommage au Gouvernement de la République française et à le remercier pour l'initiative qu'il a prise, en 1910, de réunir une Conférence internationale à l'effet de rechercher les moyens de combattre la circulation et le trafic des publications obscènes. Elle apprécie hautement la valeur et l'importance de cette heureuse initiative, sans laquelle la question n'eût pas atteint la maturité qu'elle offre actuellement et qui a permis d'aboutir avec beaucoup moins de peine à un accord entre un très grand nombre d'Etats.

2° Après un examen attentif de la question de savoir s'il était possible d'insérer dans la Convention une définition du mot "obscène" qui fût acceptable par tous les Etats, la Conférence a abouti à une conclusion négative et reconnu, comme la Conférence de 1910, qu'il convenait de réserver à chaque Etat

tionnaire were also transmitted by the Secretariat of the League of Nations to all the States and submitted to the Conference.

At the outset of its investigations, the Conference decided to take the draft Convention of 1910 as the basis of its discussions, and after a thorough examination of this draft and of the replies to the questionnaire, and also of the changes which have occurred since 1910 in the international situation, the Conference unanimously came to the conclusion that a new Convention should be drafted. This Convention bears the date of September 12th, 1923, and is followed by the present Final Act.

The Conference decided to incorporate the following statements, indications and wishes in this Act:

1. It desires, in the first place, to pay a tribute to the Government of the French Republic and to thank it for its initiative in convening an International Conference in 1910 for the purpose of investigating the methods of combating the circulation of and traffic in obscene publications. It highly appreciates the value and importance of its happy initiative, without which the question could not have reached its present stage of development, and which has allowed an agreement to be reached between a very large number of States with much greater facility than would otherwise have been the case.

2. After careful examination of the question as to whether it was possible to insert in the Convention a definition of the word "obscene" which would be acceptable to all the States, the Conference came to a negative conclusion and recognised, like the Conference of 1910, that each State must

adhéré seront invités à mettre à effet ses dispositions, et les Etats qui n'y sont pas encore parties seront instamment priés d'y adhérer le plus tôt possible."

"3. Le Conseil est invité à communiquer le projet de Convention de 1910, accompagné d'un questionnaire à tous les Etats, en les priant de transmettre leurs observations au Secrétariat de la Société des Nations, qui, après les avoir coordonnées, en transmettra l'ensemble au Gouvernement français en le priant, au nom du Conseil, vu l'initiative prise par ce Gouvernement en 1910, de vouloir bien convoquer, sous les auspices de la Société, une nouvelle conférence qui se tiendrait à Genève, à l'occasion de la quatrième Assemblée, et qui serait composée de plénipotentiaires chargés d'élaborer un nouveau texte de Convention et de procéder à sa signature."

Les noms des délégués plénipotentiaires, délégués suppléants, conseillers techniques ou experts, ainsi que ceux des pays que les plénipotentiaires représentaient, figurent dans une annexe jointe au présent Acte final.

M. Gaston DESCHAMPS, délégué de la France, a été appelé, par acclamation, à remplir les fonctions de président de la Conférence.

Sir Prabhashankar PATTANI, délégué de l'Inde, a été désigné comme vice-président.

Conformément aux résolutions ci-dessus rapportées de l'Assemblée de la Société des Nations, le projet de Convention établi par la Conférence internationale tenue à Paris en 1910, accompagné d'un questionnaire, avait été communiqué le 1^{er} novembre 1922 à tous les Etats. Les réponses à ce questionnaire

to give full effect to its provisions, and those States which are not yet parties to it should be urged to accede to it at an early date.

"(3) To invite the Council to communicate the draft Convention of 1910 with a questionnaire to every State with the request that it should forward its comments thereon to the Secretariat of the League of Nations. The Secretariat will co-ordinate the replies received and submit them as a whole to the French Government, requesting it, on behalf of the Council, in view of the initiative taken by that Government in 1910, to convene a new conference under the auspices of the League, to be held at Geneva about the time of the Fourth Assembly, and to be composed of plenipotentiaries empowered to draw up the text of a new convention and to sign such a convention."

The names of the plenipotentiary delegates, substitute delegates, technical advisers or experts, and those of the countries represented by the plenipotentiaries, will be found in an annex at the conclusion of the present Final Act.

M. Gaston DESCHAMPS, delegate of France, was elected President of the Conference by acclamation.

Sir Prabhashankar PATTANI, delegate of India, was elected Vice-President.

In conformity with the Resolutions of the Assembly of the League of Nations quoted above, the draft Convention established by the International Conference held in Paris in 1910, together with a questionnaire, was communicated on November 1st, 1922, to all the States. The replies to this ques-

CONFÉRENCE INTERNATIONALE POUR LA RÉPRES-
SION DE LA CIRCULATION ET DU TRAFIC DES
PUBLICATIONS OBSCÈNES.

ACTE FINAL.

La Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes, convoquée sur l'invitation du Gouvernement de la République française, s'est réunie à Genève, le 31 août 1923, sous les auspices de la Société des Nations.

La Conférence a été réunie en exécution des résolutions suivantes, adoptées le 28 septembre 1922, par la troisième Assemblée de la Société des Nations:

"L'Assemblée décide:

"1. En vertu de l'article 24 du Pacte, le Conseil de la Société des Nations est invité à autoriser le Secrétariat à prêter son concours aux Membres de la Société et à tous autres Etats qui participent au mouvement international tendant à la suppression des publications obscènes, dans toutes les mesures qui pourraient être nécessaires à cet effet."

"2. Le Conseil de la Société est invité à attirer l'attention de tous les Etats sur l'Arrangement international de 1910. Les Etats qui ont signé la Convention ou y ont

INTERNATIONAL CONFERENCE FOR THE SUPPRES-
SION OF THE CIRCULATION OF AND TRAFFIC
IN OBSCENE PUBLICATIONS.

FINAL ACT.

The International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications met, by the invitation of the Government of the French Republic, at Geneva, under the auspices of the League of Nations, on August 31st, 1923.

The Conference was held in pursuance of the following Resolutions passed by the Third Assembly of the League of Nations, on September 28th, 1922:—

"The Assembly decides:

"(1) To ask the Council of the League, in accordance with Article 24 of the Covenant, to authorise the Secretariat to assist Members of the League, and any other States which are parties to the international movement for the suppression of obscene publications, in all measures which may be necessary for this purpose.

"(2) To ask the Council to draw the attention of all States to the International Agreement of 1910; those States which have signed or acceded to it should be asked

Déclaration.

Le Gouvernement du Japon déclare qu'il retire de la déclaration faite par le Délégué japonais lors de sa signature de la Convention internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes, le 12 septembre 1923, la réserve formulée en vertu de l'article 13 de ladite Convention.

Le 14 février 11 Showa (1936).

PANAMA	PANAMA
R. A. AMADOR	
PAYS-BAS	NETHERLANDS
A. DE GRAAF	
PERSE	PERSIA
Prince ARFA-ED-DOVLEH (<i>ad referendum</i>)	
POLOGNE	POLAND
F. SOKAL	
VILLE LIBRE DE DANTZIG	FREE CITY OF DANZIG
J. MODZELEWSKI	
PORTUGAL	PORTUGAL
Augusto DE VASCONCELLOS	
ROUMANIE	ROUMANIA
N. P. COMNÈNE	
SALVADOR	SALVADOR
J. Gustavo GUERRERO	
ROYAUME DES SERBES, CROATES, ET SLOVÈNES	KINGDOM OF THE SERBS, CROATS AND SLOVENES
M. JOVANOVITCH	
SIAM	SIAM
The Siamese Government reserve full right to enforce the provisions of the present Convention against foreigners in Siam in accordance with the principles prevailing for applying Siamese legislation to such foreigners.	
DAMRAS	

SUISSE	SWITZERLAND
E. BÉGUIN	
TCHÉCOSLOVAQUIE	CZECHOSLOVAKIA
Dr Robert FLIEDER	
TURQUIE	TURKEY
RUCHDY	
URUGUAY	URUGUAY
B. FERNANDEZ Y MEDINA	

DANEMARK

DENMARK

En signant la Convention élaborée par la Conférence internationale sur les publications obscènes, je soussigné, délégué du Gouvernement danois, déclare, relativement à l'article 4, voir l'article premier, ce qui suit : D'après les règles du droit danois, ne sont punissables les actes énoncés à l'article premier que s'ils sont prévus par l'article 184 du Code pénal danois qui punit quiconque publie un écrit obscène ou qui met en vente, distribue, répand d'autre manière ou expose publiquement des images obscènes. En outre, il est à remarquer que la législation danoise sur la presse contient des dispositions spéciales relatives aux personnes qui pourront être poursuivies pour délits de presse. Ces dispositions sont applicables aux notes prévus à l'article 184 en tant que ces actes peuvent être considérés comme délits de presse. L'application de la législation danoise sur ces points doit attendre la révision probablement prochaine du Code pénal danois.—A. O.

A. OLDENBURG

ESPAGNE

SPAIN

Emilio DE PALACIOS

FINLANDE

FINLAND

Urho TOIVOLA

FRANCE

FRANCE

Gaston DESCHAMPS. J. HENNEQUIN

GRÈCE

GREECE

N. POLITIS. D. E. CASTORIS

HAITI

HAITI

M. BONAMY

HONDURAS

HONDURAS

Ad referendum. Carlos GUTIERREZ

HONGRIE

HUNGARY

Dr Zoltán BARANYAI

ITALIE

ITALY

Cavazzoni STEFANO

JAPON

JAPAN

Y. SUGIMURA

En signant la Convention internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes, je, soussigné, déclare que ma signature n'engage ni Formose, ni la Corée, ni le territoire à bail de Kwantung, ni Karafuto, ni les territoires soumis au mandat du Japon et que les dispositions de l'article 16 de la présente Convention ne portent pas atteinte à l'action faite par le pouvoir judiciaire du Japon en appliquant les lois et décrets japonais.

LETTONIE

LATVIA

J. FELDMANS

LITHUANIE

LITHUANIA

Ig. JONYNAS

LUXEMBOURG

LUXEMBURG

Ch. G. VERMAIRE

MONACO

MONACO

R. ELLÈS-PRIVAT

EN FOI DE QUOI, les plénipotentiaires susnommés ont signé la présente Convention.

FAIT à Genève, le douze septembre mil neuf cent vingt-trois, en deux exemplaires originaux, dont l'un restera déposé aux archives de la Société des Nations et l'autre restera déposé dans les archives du Gouvernement de la République française.

IN FAITH WHEREOF the above-named Plenipotentiaries have agreed the present Convention.

DONE at Geneva the twelfth day of September, one thousand nine hundred and twenty-three, in two originals of which one shall remain deposited in the archives of the League of Nations and the other shall remain deposited in the archives of the Government of the French Republic.

- | | |
|--|---------|
| ALBANIE | ALBANIA |
| B. BLINISHTI | |
| ALLEMAGNE | GERMANY |
| Gottfried ASCHMANN
(Vorbehaltlich der Ratifikation) | |
| AUTRICHE | AUSTRIA |
| Ad referendum. E. PFLÜGL | |
| BELGIQUE | BELGIUM |
| Maurice DULLAERT | |
| BRÉSIL | BRAZIL |
| Afranio DE MELLO FRANCO | |

EMPIRE BRITANNIQUE BRITISH EMPIRE

I declare that my signature does not include any of the Colonies, Overseas Possessions, Protectorates or Territories under His Britannic Majesty's Sovereignty or Authority. A. H. B. A. H. BODKIN, S. W. HARRIS.

UNION SUD-AFRICAINNE UNION OF SOUTH AFRICA

PARMOOR*
NOUVELLE ZÉLANDE NEW ZEALAND
J. ALLEN
My signature includes the mandated territory of Western Samoa. J. A.

INDE INDIA
ÉTAT LIBRE D'IRLANDE IRISH FREE STATE

Michael MACWHITE
BULGARIE BULGARIA
Ch. KALFOFF

CHINE CHINA
Tcheng LOH

COLOMBIE COLOMBIA
Con reserva de la ulterior aprobacion legislativa.
Francisco José URRUTIA

COSTA-RICA COSTA RICA
Ad referendum. Manuel M. DE PERALTA

CUBA CUBA

Cosme de la TORRIENTE

* La signature de Lord Parmoor engage le territoire sous mandat de sa Majesté Britannique au Sud-Ouest africain. * Lord Parmoor's signature includes the Territory under His Britannic Majesty's mandate of South-West Africa.

possessions d'outre-mer, ou territoires soumis à sa souveraineté ou à son autorité, et peut, ultérieurement, adhérer séparément au nom de l'un quelconque de ses protectorats, colonies, possessions d'outre-mer ou territoires exclus par cette déclaration.

La dénonciation pourra également s'effectuer séparément pour tout protectorat, colonie, possession d'outre-mer ou territoire soumis à sa souveraineté ou autorité; les dispositions de l'article XII s'appliqueront à cette dénonciation.

Article XIV.—Le Secrétaire général de la Société des Nations tiendra un recueil spécial indiquant quelles sont celles des Parties qui ont signé la Convention, qui l'ont ratifiée, qui y ont adhéré, ou qui l'ont dénoncée. Cette liste pourra être consultée en tout temps par les Membres de la Société des Nations ou autre Etat signataire ou adhérent. Elle sera publiée aussi souvent que possible.

Article XV.—Tous les différends qui pourraient s'élever entre les Parties contractantes au sujet de l'interprétation ou de l'application de la présente Convention seront, s'ils ne peuvent être réglés par des négociations directes, renvoyés pour décision à la Cour permanente de Justice internationale. Si les Parties entre lesquelles surgit un différend, ou l'une d'elles, se trouvaient n'avoir pas signé ou accepté le protocole de signature de la Cour permanente de Justice internationale, leur différend sera soumis, au gré des Parties, soit à la Cour permanente de Justice internationale, soit à un arbitrage.

Article XVI.—Si cinq des Parties signataires ou adhérentes demandent la révision de la présente Convention, le Conseil de la Société des Nations devra convoquer une Conférence à cet effet. Dans tous les cas, le Conseil examinera, à la fin de chaque période de cinq années, l'opportunité de cette convocation.

overseas possessions, protectorates or territories under its sovereignty or authority, and may subsequently adhere separately on behalf of any such colony, overseas possession, protectorate or territory so excluded in its declaration.

Denunciation may also be made separately in respect of any such colony, overseas possession, protectorate or territory under its sovereignty or authority, and the provisions of Article XII shall apply to any such denunciation.

Article XIV.—A special record shall be kept by the Secretary-General of the League of Nations, showing which of the parties have signed, ratified, adhered to or denounced the present Convention. This record shall be open at all times to any of the Members of the League of Nations or any State which has signed or adhered to the Convention. It shall be published as often as possible.

Article XV.—Disputes between the Parties relating to the interpretation or application of this Convention shall, if they cannot be settled by direct negotiation, be referred for decision to the Permanent Court of International Justice. In case either or both of the Parties to such a dispute should not be Parties to the protocol of signature of the Permanent Court of International Justice, the dispute shall be referred, at the choice of the Parties, either to the Permanent Court of International Justice or to arbitration.

Article XVI.—Upon a request for a revision of the present Convention by five of the signatory or adherent Parties to the Convention, the Council of the League of Nations shall call a conference for that purpose. In any event, the Council will consider the desirability of calling a conference at the end of each period of five years.

du 4 mai 1910, qui entrera en vigueur à la même date que la Convention elle-même, dans l'ensemble du territoire de l'Etat ou du Membre de la Société des Nations ratifiant ou adhérent.

Il n'est toutefois pas dérogé, par la disposition précédente, à l'article IV de l'Arrangement précité du 4 mai 1910, qui demeure applicable au cas où un Etat préférerait faire acte d'adhésion à cet Arrangement seulement.

Article XI.—La présente Convention entrera en vigueur le trentième jour qui suivra la réception de deux ratifications par le Secrétaire général de la Société des Nations.

Article XII.—La présente Convention peut être dénoncée par notification écrite, adressée au Secrétaire général de la Société des Nations. La dénonciation deviendra effective un an après la date de sa réception par le Secrétaire général et n'aura d'effet qu'en ce qui concerne le Membre de la Société des Nations ou l'Etat dénonçant.

Le Secrétaire général de la Société des Nations portera à la connaissance de chacun des Membres de la Société des Nations signataires de la Convention ou adhérents à la Convention et des autres Etats signataires ou adhérents toute dénonciation reçue par lui.

La dénonciation de la présente Convention n'entraînera pas de plein droit dénonciation concomitante de l'Arrangement du 4 mai 1910, à moins qu'il n'en soit fait mention expresse dans l'acte de notification.

Article XIII.—Tout Membre de la Société des Nations ou Etat signataire ou adhérent peut déclarer que sa signature ou son adhésion n'engage pas, soit l'ensemble, soit tel de ses protectorats, colonies,

which shall come into force on the same date as the Convention itself in the whole of the territory of the ratifying or adhering Member of the League or State.

Article IV of the above-mentioned Agreement of May 4th, 1910, shall not, however, be invalidated by the preceding provision, but shall remain applicable should any State prefer to adhere to that Agreement only.

Article XI.—The present Convention shall come into force on the thirtieth day after the deposit of two ratifications with the Secretary-General of the League of Nations.

Article XII.—The present Convention may be denounced by an instrument in writing addressed to the Secretary-General of the League of Nations. The denunciation shall become effective one year after the date of the receipt of the instrument of denunciation by the Secretary-General, and shall operate only in respect of the Members of the League of Nations or State which makes it.

The Secretary-General of the League of Nations shall notify the receipt of any such denunciation to all Members of the League of Nations signatories of or adherents to the Convention and to other signatory or adherent States.

Denunciation of the present Convention shall not, *ipso facto*, involve the concomitant denunciation of the Agreement of May 4th, 1910, unless this is expressly stated in the instrument of notification.

Article XIII.—Any Member of the League of Nations or State signing or adhering to the present Convention may declare that its signature or adhesion does not include any or all of its colonies,

Article VIII.—La présente Convention est sujette à ratification. Les instruments de ratification seront transmis au Secrétaire général de la Société des Nations, qui en notifiera le dépôt aux Membres de la Société des Nations signataires de la Convention, ainsi qu'aux autres États signataires.

Le Secrétaire général de la Société des Nations communiquera immédiatement au Gouvernement de la République française copie certifiée conforme de tout instrument se rapportant à la présente Convention.

Conformément aux dispositions de l'article 18 du Pacte de la Société des Nations, le Secrétaire général enregistrera la présente Convention le jour de l'entrée en vigueur de cette dernière.

Article IX.—A partir du 31 mars 1924, tout État représenté à la Conférence et non signataire de la Convention, tout Membre de la Société des Nations et tout État auquel le Conseil de la Société des Nations aura, à cet effet, communiqué un exemplaire, pourra adhérer à la présente Convention.

Cette adhésion s'effectuera au moyen d'un instrument communiqué au Secrétaire général de la Société des Nations, aux fins de dépôt dans les archives du Secrétariat. Le Secrétaire général notifiera ce dépôt immédiatement aux Membres de la Société des Nations signataires de la Convention, ainsi qu'aux autres États signataires.

Article X.—La ratification de la présente Convention, ainsi que l'adhésion à cette Convention entraîneront, de plein droit et sans notification spéciale, adhésion concomitante et entière à l'Arrangement

purpose.

Article VIII.—The present Convention is subject to ratification. The instruments of ratification shall be deposited with the Secretary-General of the League of Nations, who shall notify the receipt of them to Members of the League who are signatories of the Convention and to other signatory States.

The Secretary-General of the League of Nations shall immediately communicate a certified copy of each of the instruments deposited, with reference to this Convention, to the Government of the French Republic.

In compliance with the provisions of Article 18 of the Covenant of the League of Nations, the Secretary-General will register the present Convention upon the day of its coming into force.

Article IX.—After March 31st, 1924, the present Convention may be adhered to by any State represented at the Conference which has not signed the Convention, by any Member of the League of Nations, or by any State to which the Council of the League of Nations shall have communicated a copy of the Convention for this purpose.

Adhesion shall be effected by an instrument communicated to the Secretary-General of the League of Nations to be deposited in the archives of the Secretariat. The Secretary-General shall at once notify such deposit to all Members of the League of Nations signatories of the Convention and to other signatory States.

Article X.—Ratification of or adhesion to the present Convention shall *ipso facto*, and without special notification, involve concomitant and full acceptance of the Agreement of May 4th, 1910,

Convention, s'engagent à prendre ou à proposer à leurs législatures respectives les mesures nécessaires à cet égard.

Article V.—Les Parties contractantes dont la législation ne sera pas dès à présent suffisante, conviennent d'y prévoir des perquisitions dans les lieux où il y a des raisons de croire que se fabriquent ou se trouvent, en vue de l'un quelconque des buts spécifiés à l'Article I ou en violation de cet article, des écrits, dessins, gravures, peintures, imprimés, images, affiches, emblèmes, photographies, films cinématographiques ou autres objets obscènes et d'en prévoir également la saisie, la confiscation et la destruction.

Article VI.—Les Parties contractantes conviennent que, dans le cas d'infraction aux dispositions de l'Article I, commise sur le territoire de l'une d'elles, lorsqu'il y a lieu de croire que les objets de l'infraction ont été fabriqués sur le territoire ou importés du territoire d'une autre Partie, l'autorité désignée, en vertu de l'Arrangement du 4 mai 1910, signalera immédiatement les faits à l'autorité de cette autre Partie et lui fournira en même temps des renseignements complets, pour lui permettre de prendre les mesures nécessaires.

Article VII.—La présente Convention, dont les textes français et anglais feront foi, portera la date de ce jour, et sera, jusqu'au 31 mars 1924, ouverte à la signature de tout Etat représenté à la Conférence, de tout Membre de la Société des Nations et de tout Etat à qui le Conseil de la Société des Nations aura, à cet effet, communiqué un exemplaire de la présente Convention.

undertake to take, or to propose to their respective legislatures, the measures necessary for this purpose.

Article V.—The Contracting Parties whose legislation is not at present sufficient for the purpose, agree to make provision for the searching of any premises where there is reason to believe that the obscene matters or things mentioned in Article I or any thereof are being made or deposited for any of the purposes specified in the said Article, or in violation of its provisions, and for their seizure, detention and destruction.

Article VI.—The Contracting Parties agree that, in case of any violation of the provisions of Article I on the territory of one of the Contracting Parties where it appears that the matter or thing in respect of which the violation of such Article has occurred was produced in or imported from the territory of any other of the Contracting Parties, the Authority designated in pursuance of the Agreement of May 4th, 1910, of such Contracting Party shall immediately render to the corresponding Authority of the other Contracting Party, from whose country such matter or thing is believed to have come or in which it is believed to have been produced, full information so as to enable such Authority to adopt such measures as shall appear to be suitable.

Article VII.—The present Convention, of which the French and English texts are authoritative, shall bear this day's date, and shall be open for signature until March 31st, 1924, by any State represented at the Conference, by any Member of the League of Nations, and by any State to which the Council of the League of Nations shall have communicated a copy of the Convention for this

Dans ces deux cas, copie de la commission rogatoire sera toujours adressée en même temps à l'autorité supérieure du pays requis;

3) Soit par la voie diplomatique.

Chaque Partie contractante fera connaître, par une communication adressée à chacune des autres Parties contractantes, celui ou ceux des modes de transmission susvisés qu'elle admet pour les commissions rogatoires de cette Partie.

Toutes les difficultés qui s'élèveraient à l'occasion des transmissions opérées dans les cas 1 et 2 du présent article seront réglées par la voie diplomatique.

Sauf entente contraire, la commission rogatoire doit être rédigée soit dans la langue de l'autorité requise, soit dans la langue convenue entre les deux pays intéressés, ou bien, elle doit être accompagnée d'une traduction faite dans une de ces deux langues et certifiée conforme par un agent diplomatique ou consulaire du pays requérant ou par un traducteur-juré du pays requis.

L'exécution des commissions rogatoires ne pourra donner lieu au remboursement de taxes ou frais de quelque nature que ce soit.

Rien, dans le présent article, ne pourra être interprété comme constituant, de la part des Parties contractantes, un engagement d'admettre, en ce qui concerne le système des preuves en matière répressive, une dérogation à leurs lois.

Article IV.—Les Parties contractantes dont la législation ne serait pas, dès à présent, suffisante pour donner effet à la présente

shall receive direct from such authority the papers showing the execution of the rogatory commission.

In each of the above cases a copy of the rogatory commission shall always be sent to the supreme authority of the country to which application is made.

(3) Or through diplomatic channels.

Each Contracting Party shall notify to each of the other Contracting Parties the method or methods of transmission mentioned above which it will recognise for rogatory commissions of such Party.

Any difficulties which may arise in connection with transmission by methods (1) and (2) of the present Article shall be settled through diplomatic channels.

Unless otherwise agreed, the rogatory commission shall be drawn up in the language of the authority to which request is made, or in a language agreed upon by the two countries concerned, or shall be accompanied by a translation in one of these two languages certified by a diplomatic or consular agent of the country making the request or certified on his oath by a translator of the country to which request is made.

Execution of rogatory commissions shall not be subject to payment of taxes or expenses of any nature whatsoever.

Nothing in this Article shall be construed as an undertaking on the part of the Contracting Parties to adopt in their Courts of Law any form or methods of proof contrary to their laws.

Article IV.—Those of the Contracting Parties whose legislation is not at present adequate to give effect to the present Convention,

4) d'annoncer ou de faire connaître par un moyen quelconque, en vue de favoriser la circulation ou le trafic à réprimer, qu'une personne se livre à l'un quelconque des actes punissables énumérés ci-dessus; d'annoncer ou de faire connaître comment et par qui les dits écrits, dessins, gravures, peintures, imprimés, images, affiches, emblèmes, photographies, films cinématographiques ou autres objets obscènes peuvent être procurés, soit directement, soit indirectement.

Article II.—Les individus qui auront commis l'une des infractions prévues à l'article I seront justiciables des tribunaux du pays contractant où aura été accompli soit le délit, soit l'un des éléments constitutifs du délit. Ils seront également justiciables, lorsque sa législation le permettra, des tribunaux du pays contractant auquel ils ressortissent, s'ils y sont trouvés, alors même que les éléments constitutifs du délit auraient été accomplis en dehors de son territoire.

Il appartient toutefois à chaque Partie contractante d'appliquer la maxime *non bis in idem* d'après les règles admises par sa législation.

Article III.—La transmission des commissions rogatoires relatives aux infractions visées par la présente Convention s'opérera :

- 1) Soit par communication directe entre les autorités judiciaires;
- 2) Soit par l'entremise de l'agent diplomatique ou consulaire du pays requérant dans le pays requis. Cet agent enverra directement la commission rogatoire à l'autorité judiciaire compétente ou à celle désignée par le Gouvernement du pays requis et recevra directement de cette autorité les pièces constatant l'exécution de la commission rogatoire.

(4) To advertise or make known by any means whatsoever, in view of assisting in the said punishable circulation or traffic, that a person is engaged in any of the above punishable acts, or to advertise or to make known how or from whom the said obscene matters or things can be procured either directly or indirectly.

Article II.—Persons who have committed an offence falling under Article I shall be amenable to the Courts of the Contracting Party in whose territories the offence, or any of the constitutive elements of the offence, was committed. They shall also be amenable, when the laws of the country shall permit it, to the Courts of the Contracting Party whose nationals they are, if they are found in its territories, even if the constitutive elements of the offence were committed outside such territories.

Each Contracting Party shall, however, have the right to apply the maxim, *non bis in idem* in accordance with the rules laid down in its legislation.

Article III.—The transmission of rogatory commissions relating to offences falling under the present Convention shall be effected either :

- (1) By direct communication between the judicial authorities; or
- (2) Through the diplomatic or the consular representative of the country making the request in the country to which the request is made; this representative shall send the rogatory commission direct to the competent judicial authority or to the authority appointed by the Government of the country to which the request is made, and

répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Lesquels, ayant communiqué leurs pleins pouvoirs, trouvés en bonne et due forme, et après avoir pris connaissance de l'Acte final de la Conférence et de l'Arrangement du 4 mai 1910, sont convenus des dispositions suivantes :

Article I.—Les Hautes Parties contractantes conviennent de prendre toutes mesures en vue de découvrir, de poursuivre et de punir tout individu qui se rendra coupable de l'un des actes énumérés ci-dessous et, en conséquence, décident que

Doit être puni le fait :

1) de fabriquer ou de détenir des écrits, dessins, gravures, peintures, imprimés, images, affiches, emblèmes, photographies, films cinématographiques ou autres objets obscènes, en vue d'en faire commerce ou distribution, ou de les exposer publiquement ;

2) d'importer, de transporter, d'exporter ou de faire importer, transporter ou exporter, aux fins ci-dessus, les dits écrits, dessins, gravures, peintures, imprimés, images, affiches, emblèmes, photographies, films cinématographiques ou autres objets obscènes, ou de les mettre en circulation d'une manière quelconque ;

3) d'en faire le commerce même non public, d'effectuer toute opération les concernant de quelque manière que ce soit, de les distribuer, de les exposer publiquement ou de faire métier de les donner en location ;

Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

Who, having communicated their full powers, found in good and due form,

And having taken cognizance of the Final Act of this Conference and of the Agreement of May 4th 1910,

Have agreed upon the following provisions :

Article I.—The High Contracting Parties agree to take all measures to discover, prosecute and punish any person engaged in committing any of the following offences, and accordingly agree that :

It shall be a punishable offence :

(1) For purposes of or by way of trade or for distribution or public exhibition to make or produce or have in possession obscene writings, drawings, prints, paintings, printed matter, pictures, posters, emblems, photographs, cinematograph films or any other obscene objects ;

(2) For the purpose above mentioned to import, convey or export or cause to be imported, conveyed or exported any of the said obscene matters or things, or in any manner whatsoever to put them into circulation ;

(3) To carry on or take part in a business, whether public or private, concerned with any of the said obscene matters or things, or to deal in the said matters or things in any manner whatsoever, or to distribute them or to exhibit them publicly or to make a business of lending them ;

Sa Majesté le Roi des Serbes, Croates et Slovènes :

M. le Dr MILUTIN JOVANOVIČIĆ, envoyé extraordinaire et ministre plénipotentiaire près le Conseil fédéral suisse; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Sa Majesté le Roi de Siam :

S. A. S. le Prince DAMRAS DAMRONG, délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Conseil fédéral suisse :

M. Ernest BÉGUIN, député au Conseil des Etats; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Président de la République tchécoslovaque :

M. le Dr ROBERT FLIEDER, envoyé extraordinaire et ministre plénipotentiaire près le Conseil fédéral suisse; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Président de la République turque :

RUCHDY Bey, chargé d'Affaires à Berne.

Le Président de la République de l'Uruguay :

M. Benjamin FERNANDEZ Y MEDINA, envoyé extraordinaire et ministre plénipotentiaire près Sa Majesté le Roi d'Espagne; délégué à la Conférence internationale pour la

His Majesty the King of the Serbs, Croats and Slovenes :

Dr. MILUTIN JOVANOVIČIĆ, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary to the Swiss Federal Council; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

His Majesty the King of Siam :

His Serene Highness Prince DAMRAS DAMRONG; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The Swiss Federal Council :

M. Ernest BÉGUIN, Deputy to the States Council; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Czechoslovak Republic :

Dr. ROBERT FLIEDER, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary to the Swiss Federal Council; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Turkish Republic :

RUCHDY Bey, Chargé d'Affaires at Berne.

The President of the Republic of Uruguay :

M. Benjamin FERNANDEZ Y MEDINA, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary to His Majesty the King of Spain; Delegate at the International Conference for the

représentant du Gouvernement impérial auprès de la Société des Nations; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Président de la République polonaise :

M. F. SOKAL, inspecteur général du travail; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

et pour

la Ville libre de Danzig :

M. J. MODZELEWSKI, envoyé extraordinaire et ministre plénipotentiaire près le Conseil fédéral suisse.

Le Président de la République portugaise :

M. le Dr Augusto C. D'ALMEIDA VASCONCELOS CORREIA, ministre plénipotentiaire; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Sa Majesté le Roi de Roumanie :

M. N. P. COMNÈNE, envoyé extraordinaire et ministre plénipotentiaire près le Conseil fédéral suisse.

Le Président de la République de Salvador :

M. J. G. GUERRERO, envoyé extraordinaire et ministre plénipotentiaire près le Président de la République française et près Sa Majesté le Roi d'Italie; délégué à la quatrième Assemblée de la Société des Nations.

Representative of the Imperial Government accredited to the League of Nations; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Polish Republic :

M. F. SOKAL, Inspector-General of Labour; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications;

and for

the Free City of Danzig :

M. J. MODZELEWSKI, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary to the Swiss Federal Council.

The President of the Portuguese Republic :

Dr. Augusto C. D'ALMEIDA VASCONCELOS CORREA, Minister Plenipotentiary; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

His Majesty the King of Roumania :

M. N. P. COMNÈNE, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary to the Swiss Federal Council.

The President of the Republic of Salvador :

M. J. G. GUERRERO, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary to the President of the French Republic and to His Majesty the King of Italy; Delegate at the Fourth Assembly of the League of Nations.

Le Président de la République lithuanienne :

M. Ignace JONYNAS, directeur au Ministère des Affaires Étrangères; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Son Altesse Royale la Grande Duchesse de Luxembourg :

M. Charles VERMAIRE, consul du Grand-Duché à Genève; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Son Altesse Sérénissime le Prince de Monaco :

M. Rodolphe ELLÈS-PRIVAT, vice-consul de la Principauté à Genève; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Président de la République de Panama :

M. R. A. AMADOR, chargé d'Affaires à Paris; délégué à la quatrième Assemblée de la Société des Nations.

Sa Majesté la Reine des Pays-Bas :

M. A. DE GRAAF, président du Comité néerlandais pour la répression de la traite des blanches; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Sa Majesté Impériale le Shah de Perse :

S. A. le Prince MIRZA RIZA KAHN ARFA-ED-DOVLEH,

The President of the Republic of Lithuania :

M. Ignace JONYNAS, Director of the Ministry for Foreign Affairs; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

Her Royal Highness the Grand Duchess of Luxemburg :

M. Charles VERMAIRE, Consul of the Grand-Duchy at Geneva; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

His Serene Highness the Prince of Monaco :

M. Rodolphe ELLÈS-PRIVAT, Vice-Consul of the Principality at Geneva; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Republic of Panama :

M. R. A. AMADOR, Chargé d'Affaires in Paris; Delegate at the Fourth Assembly of the League of Nations.

Her Majesty the Queen of the Netherlands :

M. A. DE GRAAF, President of the Netherlands Committee for the Suppression of the White Slave Traffic; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

His Imperial Majesty the Shah of Persia :

His Highness Prince MIRZA RIZA KAHN ARFA-ED-DOVLEH,

près le Président de la République française; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Président de la République du Honduras :

M. Carlos GUTIERREZ, chargé d'Affaires à Paris; délégué à la quatrième Assemblée de la Société des Nations.

Son Altesse Sérénissime le Gouverneur de Hongrie :

M. Zoltán BARANYAI, chef du Secrétariat royal hongrois auprès de la Société des Nations; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Sa Majesté le Roi d'Italie :

M. Stefano CAVAZZONI, député; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Sa Majesté l'Empereur du Japon :

M. Y. SUGIMURA, chef adjoint au Bureau du Japon pour la Société des Nations, à Paris.

Le Président de la République de Lettonie :

M. Julijs FELDMANS, chef de la Section de la Société des Nations au Ministère des Affaires étrangères; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

to the President of the French Republic; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Republic of Honduras :

M. Carlos GUTIERREZ, Chargé d'Affaires in Paris; Delegate at the Fourth Assembly of the League of Nations.

His Serene Highness the Governor of Hungary :

M. Zoltán BARANYAI, Head of the Royal Hungarian Secretariat accredited to the League of Nations; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

His Majesty the King of Italy :

M. Stefano CAVAZZONI, Deputy; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

His Majesty the Emperor of Japan :

M. Y. SUGIMURA, Assistant Head of the Japanese League of Nations Office in Paris.

The President of the Republic of Latvia :

M. Julijs FELDMANS, Head of the League of Nations Section of the Ministry for Foreign Affairs; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

circulation et du trafic des publications obscènes.

Sa Majesté le Roi d'Espagne :

M. E. DE PALACIOS, envoyé extraordinaire et ministre plénipotentiaire près le Conseil fédéral suisse; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Président de la République de Finlande :

M. Urho TOIVOLA, secrétaire à la Légation de Finlande à Paris.

Le Président de la République française :

M. Gaston DESCHAMPS, député; président de la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

M. J. HENNEQUIN, directeur honoraire au Ministère de l'Intérieur; délégué suppléant à la dite Conférence.

Sa Majesté le Roi des Hellènes :

M. N. POLITIS, ancien ministre des Affaires étrangères; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

M. D. E. CASTORKIS, ancien directeur des affaires pénales au Ministère de la Justice; délégué suppléant à la dite Conférence.

Le Président de la République de Haïti :

M. BONAMY, envoyé extraordinaire et ministre plénipotentiaire

Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

His Majesty the King of Spain :

M. E. DE PALACIOS, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary to the Swiss Federal Council; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Republic of Finland :

M. Urho TOIVOLA, Secretary at the Finnish Legation in Paris.

The President of the French Republic :

M. Gaston DESCHAMPS, Deputy President of the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

M. J. HENNEQUIN, Honorary Director at the Ministry for Home Affairs; Substitute Delegate at the said Conference.

His Majesty the King of the Hellenes :

M. N. POLITIS, Former Minister for Foreign Affairs; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

M. D. E. CASTORKIS, Former Director of Criminal Affairs at the Ministry of Justice; Substitute Delegate at the said Conference.

The President of the Republic of Haiti :

M. BONAMY, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary

plénipotentiaire près le Président de la République française ;
délégué à la Conférence internationale pour la répression de
la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Président de la République de Colombie :

M. Francisco José URRUTIA, envoyé extraordinaire et ministre
plénipotentiaire près le Conseil fédéral Suisse ; délégué à
la Conférence internationale pour la répression de la circu-
lation et du trafic des publications obscènes,

Le Président de la République de Costa-Rica :

M. Manuel M. DE PERALTA, envoyé extraordinaire et ministre
plénipotentiaire près le Président de la République
française ; délégué à la Conférence internationale pour la
répression de la circulation et du trafic des publications
obscènes.

Le Président de la République de Cuba :

M. Cosme de la TORRIENTE Y PERAZA, sénateur ; président de
la délégation cubaine à la quatrième Assemblée de la
Société des Nations, délégué à la Conférence internationale
pour la répression de la circulation et du trafic des publi-
cations obscènes.

Sa Majesté le Roi de Danemark :

M. A. OLDENBURG, envoyé extraordinaire et ministre plénipo-
tentiaire près le Conseil fédéral suisse, représentant du
Danemark auprès de la Société des Nations ; délégué à la
Conférence internationale pour la répression de la

Plenipotentiary to the President of the French Republic ;
Delegate at the International Conference for the Suppression
of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Republic of Colombia :

M. Francisco José URRUTIA, Envoy Extraordinary and Minister
Plenipotentiary to the Swiss Federal Council ; Delegate at
the International Conference for the Suppression of the
Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Republic of Costa Rica :

M. Manuel M. DE PERALTA, Envoy Extraordinary and
Minister Plenipotentiary to the President of the French
Republic ; Delegate at the International Conference for
the Suppression of the Circulation of and Traffic in
Obscene Publications.

The President of the Republic of Cuba :

M. Cosmo DE LA TORRIENTE Y PERAZA, Senator ; President
of the Cuban Delegation at the Fourth Assembly of the
League of Nations ; Delegate at the International Conference
for the Suppression of the Circulation of and Traffic in
Obscene Publications.

His Majesty the King of Denmark :

M. A. OLDENBURG, Envoy Extraordinary and Minister
Plenipotentiary to the Swiss Federal Council ; Represent-
ative of Denmark accredited to the League of Nations ;
Delegate at the International Conference for the

et des Dominions britanniques au delà des mers, Empereur des Indes :

Sir Archibald BODKIN, Director of Public Prosecutions; délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

M. S. W. HARRIS, C.B., C.V.O., conseiller technique de la délégation britannique à la dite Conférence.

et

pour l'Union Sud-Africaine :

Le Très Honorable Lord PARMOOR, représentant de l'Empire britannique au Conseil de la Société des Nations.

pour le Dominion de la Nouvelle-Zélande :

L'Honorable Sir James ALLEN, K.C.B., haut commissaire pour la Nouvelle-Zélande dans le Royaume-Uni.

pour l'Inde :

Sir Prabhshankar D. PATTANI, K.C.I.E.

pour l'Etat libre d'Irlande :

M. Michael MAC WHITE, représentant de l'Etat libre auprès de la Société des Nations.

Sa Majesté le Roi des Bulgares :

M. Ch. KALFOFF, ministre des Affaires étrangères, premier délégué de la Bulgarie à la quatrième Assemblée de la Société des Nations.

Le Président de la République de Chine :

M. Tcheng LOH, envoyé extraordinaire et ministre

Ireland, and of the British Dominions beyond the Seas; Emperor of India :

Sir Archibald BODKIN, Director of Public Prosecutions; Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications;

Mr. S. W. HARRIS, C.B., C.V.O., Technical Adviser of the British Delegation at the said Conference;

and

for the Union of South Africa :

The Right Hon. Lord PARMOOR, Representative of the British Empire on the Council of the League of Nations;

for the Dominion of New Zealand :

The Hon. Sir James ALLEN, K.C.B., High Commissioner for New Zealand in the United Kingdom;

for India :

Sir Prabhshankar D. PATTANI, K.C.I.E.

for the Irish Free State :

Mr. Michael MAOWHITE, Representative of the Free State accredited to the League of Nations.

His Majesty the King of the Bulgarians :

M. Ch. KALFOFF, Minister for Foreign Affairs; First Delegate of Bulgaria at the Fourth Assembly of the League of Nations.

The President of the Chinese Republic :

M. Tcheng LOH, Envoy Extraordinary and Minister

31 août 1923, à Genève, sous les auspices de la Société des Nations, pour l'examen du projet de Convention élaboré en 1910, et des observations formulées par les divers Etats, ainsi que pour élaborer et signer un texte définitif de Convention,

Ont nommé comme plénipotentiaires à cet effet :

Le Président du Conseil suprême d'Albanie :

M. B. BLINISHTI, directeur du Secrétariat albanais auprès de la Société des Nations.

Le Président du Reich allemand :

M. Gottfried ASCHMANN, conseiller de Légation, chargé du Consulat d'Allemagne à Genève.

Le Président de la République d'Autriche :

M. Emerio PFLÜGL, ministre résident, représentant du Gouvernement fédéral auprès de la Société des Nations.

Sa Majesté le Roi des Belges :

M. Maurice DULLAERT, délégué à la Conférence internationale pour la répression de la circulation et du trafic des publications obscènes.

Le Président de la République des Etats-Unis du Brésil :

M. le Dr AFRANIO DE MELLO FRANCO, président de la délégation brésilienne à la quatrième Assemblée de la Société des Nations.

Sa Majesté le Roi du Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande

of the League of Nations, convened in Geneva on August 31st, 1923, for the examination of the Draft Convention drawn up in 1910, the examination of the observations presented by the various States and the elaboration and signature of the final text of a Convention,

Have nominated as their plenipotentiaries for this purpose,

The President of the Supreme Council of Albania :

M. B. BLINISHTI, Director of the Albanian Secretariat accredited to the League of Nations.

The President of the German Reich :

M. Gottfried ASCHMANN, Counsellor of Legation, in charge of the German Consulate at Geneva.

The President of the Austrian Republic :

M. Emerio PFLÜGL, Resident Minister, representative of the Federal Government accredited to the League of Nations.

His Majesty the King of the Belgians :

M. Maurice DULLAERT, Delegate at the International Conference for the Suppression of the Circulation of and Traffic in Obscene Publications.

The President of the Republic of the United States of Brazil :

Dr. Afranio DE MELLO FRANCO, President of the Brazilian Delegation at the Fourth Assembly of the League of Nations.

His Majesty the King of the United Kingdom of Great Britain and

右條約宣言、最終議定書及協定英文也、也、

CONVENTION INTERNATIONALE
POUR LA RÉPRESSION DE LA CIRCULATION ET
DU TRAFIC DES PUBLICATIONS OBSCÈNES

*ouverte à la signature, à Genève,
du 12 septembre 1923 au 31 mars 1924.*

L'ALBANIE, L'ALLEMAGNE, L'AUTRICHE, LA BELGIQUE, LE
BRÉSIL, L'EMPIRE BRITANNIQUE (AVEC L'UNION SUD-AFRICAINNE, LA
NOUVELLE-ZÉLANDE, L'INDE ET L'ÉTAT LIBRE D'IRLANDE), LA
BULGARIE, LA CHINE, LA COLOMBIE, COSTA-RICA, CUBA, LE
DANEMARK, L'ESPAGNE, LA FINLANDE, LA FRANCE, LA GRÈCE,
HAÏTI, LE HONDURAS, LA HONGRIE, L'ITALIE, LE JAPON, LA
LETTONIE, LA LITHUANIE, LUXEMBOURG, MONACO, LE PANAMA,
LES PAYS-BAS, LA PERSE, LA POLOGNE (AVEC DANTZIG), LE
PORTUGAL, LA ROUMANIE, LE SALVADOR, LE ROYAUME DES SERBES,
CROATES ET SLOVÈNES, LE SIAM, LA SUISSE, LA TCHÉCOSLOVAQUIE,
LA TURQUIE ET L'URUGUAY :

Egalement désireux de donner le plus d'efficacité possible à la
répression de la circulation et du trafic des publications obscènes,

Ayant accepté l'invitation du Gouvernement de la République
française en vue de prendre part à une Conférence convoquée le

INTERNATIONAL CONVENTION
FOR THE SUPPRESSION OF THE CIRCULATION OF
AND TRAFFIC IN OBSCENE PUBLICATIONS

*open for Signature at Geneva
from September 12th, 1923, to March 31st, 1924.*

ALBANIA, GERMANY, AUSTRIA, BELGIUM, BRAZIL, THE BRITISH
EMPIRE (WITH THE UNION OF SOUTH AFRICA, NEW ZEALAND,
INDIA AND THE IRISH FREE STATE), BULGARIA, CHINA, COLOMBIA,
COSTA RICA, CUBA, DENMARK, SPAIN, FINLAND, FRANCE, GREECE,
HAITI, HONDURAS, HUNGARY, ITALY, JAPAN, LATVIA, LITHUANIA,
LUXEMBURG, MONACO, PANAMA, THE NETHERLANDS, PERSIA,
POLAND (WITH DANZIG), PORTUGAL, ROUMANIA, SALVADOR,
KINGDOM OF THE SERBS, CROATS AND SLOVENES, SIAM, SWIT-
ZERLAND, CZECHOSLOVAKIA, TURKEY AND URUGUAY:

Being equally desirous of making as effective as possible the
means of suppressing the circulation of and traffic in obscene publi-
cations,

Having accepted the invitation of the Government of the
French Republic to take part in a conference, under the auspices